

社会福祉法人三宝会令和2年度事業報告

令和2年度は、4月に入ってすぐ大都市部に新型コロナウイルスに対する緊急事態宣言が発令され、4月中旬には全国規模に宣言が拡大されました。袋井市では公立保育園等が臨時休業となり、民間保育園にも休業要請がありました。三宝会の保育部門では、原則休園としつつも保育の必要な家庭のため自主登園として保育を続けました。介護部門は、国の方針に従い、感染防止対策を講じながらサービス提供を継続しました。

5月中旬に緊急事態宣言が解除され、6月下旬には県境をまたぐ移動の自粛が全面解除となったものの、東京オリンピックは1年延期、夏の甲子園は戦後初の中止となりました。三宝会の各施設においても外出イベント、ボランティアの慰問、外部での集合研修が軒並み中止となりました。

11月から大都市部で時短営業や休業要請が始まり、年末年始にかけて流行の第3波が感染者数の大きな山を築き、令和3年1月初旬から首都圏が2度目の緊急事態宣言下に入りました。年度末には宣言が一旦解除になりましたが、ワクチンの接種はようやく始まったばかりで、まだ感染症の終息は見えてこない状況で令和2年度は終わりました。

年間を通じて各施設では当初計画した多くのことが変更・中止を余儀なくされる中で、補助金対象事業として建設を計画していたグループホームについては、幸いなことに工事にさほど支障を及ぼすことなく無事完成にこぎつけることができました。

また、三宝会の自主事業として進めていたルンビニ保育園の乳児棟建設工事および本体園舎のリフォームも完成させることができました。これに伴ってルンビニ保育園は定員を10名加えて100名とした上で幼保連携型認定こども園へ移行し、令和3年度から「ルンビニこども園」として運営を開始することになりました。

令和2年度は新型コロナウイルスに翻弄された一年でした。各施設とも職員の感染防止に対する取り組みのおかげでクラスターの発生など大事に至ることはありませんでした。感染防止にあたって、職員は日常生活においても不自由や制約を受けることもありました。社会の緊急時においてはエッセンシャルワーカーとしてその提供するサービスが必要不可欠なものであることが浮き彫りになりました。困難な状況をもたらした新型コロナウイルスではありますが、私たちのサービスの価値を再発見することにもつながりました。

<職員>

職員数 206名（月平均） 新入職員 35名 退職者 16名

資格取得者 介護福祉士 6名

育児休業取得者 8名

<施設整備>

紫雲の園 ケアカルテ導入、食堂エアコン取替、物置設置（2台）

浅羽デイサービスセンター ガス乾燥機取付、フロア床改装

浅羽ケアマネジメントセンター ケアカルテ導入

ひなた	ケアカルテ導入、非常用ガス発電機設置
グループホームひなた	新設（建設年度）
ルンビニ保育園	ベビー棟新設、1階保育室改修、階段耐火化
ルンビニ第二保育園	総合遊具再塗装、ステップ付つり橋設置
ルンビニあゆみ園	菜園造成、本棚購入、玄関前フェンス設置
花びら	日除け用テント取付、給食配送車購入

<経営状況>

・介護部門について

介護部門では、ICT化を推進するため介護記録・請求システムをタブレット端末を使用するクラウド型に移行しました。これにより記録に要する時間を短縮することで利用者に接する時間を増やし、残業時間を減らすことになることと、集計したデータを活用し厚労省の推進する科学的介護に取り組むことを目標としています。ただし、感染防止対策上、システム導入にあたってシステム会社との打ち合わせや職員研修が、対人によるグループ研修に代わってオンラインでの対話や動画の視聴に切り替わったことで、勝手が分からず説明に欠けているところもあり、介護記録を紙からデジタルへ移行することについて進捗が遅れています。

紫雲の園では、感染防止対策として7・10月の2ヶ月以外のすべての期間において、入所者への直接面会を原則中止し、オンラインまたはベランダからのガラス越しでの面会としました。外出や外部イベントへの参加をすべて自粛する一方、職員が施設内で楽しめる新企画を数多く実施し、利用者から好評を得ました。研修も集合研修は中止になることが多かったが、オンラインにより受講する機会が増えてきました。出張を伴わず受講できる等、オンライン研修に利便性もあるため、感染防止対策に係わらず、今後も活用できるよう環境を整備し、職員がスキルを身に付けていく必要があります。

ショートステイは、長期利用の方を積極的に受け入れたことが奏功して目標を達成することができました。

デイサービスでは、営業用ツールとしてリーフレットを刷新したものの他事業所等への営業訪問を控えるざるを得なかったにも関わらず、延べ利用者数は過去5年で最高を記録しました。要因としてデイサービスの利用を終了する方が少なかったことが挙げられます。実利用者は前年度より少ないため、楽観できない傾向にあります。

ひなたでは、地域行事が中止になり、運営推進会議も開催数を減らす等、地域密着らしい活動がほとんどできなかったものの、サービスの利用を希望する方が増えたことにより、収入は過去最高益を記録しました。これからの地域のニーズにマッチしたサービスとして存在感を高めつつあります。また、次年度に開業するグループホームのために各種媒体を使って職員募集を行い、必要な人材を確保することができました。

・保育部門について

保育部門では、年度当初は原則休園となりましたが、保育給付費は休園日に係わらず支給されましたので収入の面では感染症の影響はありませんでした。運営面では遠足など外出行事は多くが中止になりました。また、法人内の介護施設等との交流行事もすべて中止にな

りました。

感染予防の意識が高まったせいか、各園とも手足口病や感染性胃腸炎などの感染件数が激減しました。一時預かり事業では、公共施設などに子どもを一緒に連れて入れないという理由から利用する方々がありました。

ルンビニ保育園は長年の懸案であった保育室の狭小さを、乳児棟の建設および本体園舎のリフォームによって解消することができました。併せて認定子ども園への移行の認可申請を行いました。

ルンビニあゆみ園は認定子ども園として初年度でしたが、幼稚園部（1号認定児）として3名を受け入れました。

以下、実施した事業について個別に報告します。

なお、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の付属明細書は作成していません。

法人本部

1 理事会の開催

開催年月日	出席者数	決議事項
令和2年6月5日	6/6名	令和元年度事業報告について 令和元年度決算報告について グループホームの新設計画の承認について ルンビニ保育園の乳児棟新築及び本体園舎1階保育室改修工事の承認について 定款の一部改正について 評議員会決議の省略について ルンビニ保育園の幼保連携型認定子ども園への移行について 介護保険事業に属する職員への令和2年6月支給の賞与の額について 令和2年度資金収支補正予算の承認について 浅羽地域包括支援センター管理者の交代について 法人本部及び介護事業に属する職員の給与規程の一部改正について 「介護職員処遇改善加算」に基づく改善手当の支給対象、支給方法、支給額等を定める細則の一部改正について 「介護職員等特定処遇改善加算」に基づく特定改善手当の支給対象、支給方法、支給額等を定める細則の制定について

令和2年7月17日	6/6名	グループホームの名称選定について 令和2年度資金収支補正予算の承認について グループホーム建設工事業者の選定について ルンビニ保育園乳児棟建設工事業者の選定について 法人本部及び介護事業に属する職員の給与規程の一部改正について 保育事業に属する職員の給与規程の一部改正について
令和2年8月21日	みなし	グループホーム建設工事の契約について
令和2年8月31日	みなし	グループホーム建設に伴う造成工事の契約について
令和2年10月19日	みなし	介護業務システム（ケアカルテ）のソフトウェア購入契約について
令和2年11月26日	6/6名	令和2年度資金収支補正予算の承認について 介護事業と法人本部に属する職員への令和2年12月支給の賞与の額について ルンビニ第二保育園の前期末支払資金残高の取り崩しについて 紫雲の園の積立金の取り崩しについて 資金収支補正予算の承認について 保育事業に属する職員の給与規程の一部改正について 職員紹介制度規程の制定について ルンビニ第二保育園運営規程の一部改正について グループホームの土地賃貸借契約について ルンビニ保育園乳児棟建設工事の変更契約の締結について ルンビニ保育園乳児棟に係る土地使用貸借契約の変更について ルンビニ保育園乳児棟建設工事費の支払いに係る借入について 静岡銀行から借入を行なうにあたり基本財産を担保提供することについて 評議員会決議の省略について
令和3年3月5日	6/6名	ルンビニ保育園乳児棟敷地の地上権設定契約について
令和3年3月30日	6/6名	令和2年度資金収支補正予算の承認について ルンビニこども園敷地の地上権設定契約について ルンビニこども園園庭の地役権設定契約について

	<p>定款施行細則の一部改正について</p> <p>経理規程の一部改正について</p> <p>ルンビニこども園運営規程の制定について</p> <p>ルンビニ二保育園運営規程の一部改正について</p> <p>ルンビニあゆみ園運営規程の一部改正について</p> <p>グループホーム建設工事費の支払いに係る借入について</p> <p>グループホームひなた管理者の選任について</p> <p>グループホームひなた運営規程の制定について</p> <p>「介護職員処遇改善加算」に基づく改善手当の支給対象、支給方法、支給額等を定める細則の一部改正について</p> <p>役員等賠償責任保険契約の締結について</p> <p>ルンビニ二保育園拠点区分の前期末支払資金残高の取り崩しについて</p> <p>令和3年度事業計画の承認について</p> <p>令和3年度資金収支予算の承認について</p> <p>施設職員就業規則の一部改正について</p> <p>非常勤職員就業規則の一部改正について</p> <p>嘱託職員就業規則の制定について</p> <p>シニア嘱託職員就業規則の制定について</p> <p>妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント及びセクシャルハラスメントの防止に関する規程の制定について</p> <p>法人本部及び介護事業に属する職員の給与規程の一部改正について</p> <p>法人本部及び介護事業に属する非正規職員の賃金規程の制定について</p> <p>法人本部及び介護事業に属する嘱託職員の賃金規程の制定について</p> <p>法人本部及び介護事業に属するシニア嘱託職員の賃金規程の制定について</p> <p>保育事業に属する職員の給与規程の一部改正について</p> <p>保育事業に属する非正規職員の賃金規程の制定について</p> <p>保育事業に属する嘱託職員の賃金規程の制定について</p>
--	--

		保育事業に属するシニア嘱託職員の賃金規程の制定について
--	--	-----------------------------

2 評議員会の開催

開催年月日	出席者数	決議事項
令和2年6月25日	みなし	令和元年度決算報告について グループホームの新設計画の承認について ルンビニ保育園の乳児棟新築及び本体園舎1階保育室改修計画の承認について 定款の一部改正について
令和2年12月13日	みなし	静岡銀行から借入を行なうにあたり基本財産を担保提供することについて

3 監査・実地指導の実施

(1) 法人監事による監査

令和2年5月27日 事業運営、決算

(2) 静岡県、袋井市

令和2年8月27、28日 社会福祉施設指導監査（ルンビニ保育園、ルンビニ第二保育園） 静岡県

令和2年10月23日 財政援助団体等監査（ルンビニ保育園） 袋井市

令和3年1月13日 幼保連携型認定こども園指導監査（ルンビニあゆみ園） 静岡県

令和3年2月16日 地域型保育事業所（花びら）の指導監査 袋井市

令和3年3月5日 教育・保育施設等の確認監査（ルンビニ保育園） 袋井市

4 登記事項等

資産の総額の変更（令和2年3月31日現在） 令和2年6月29日登記

目的等の追加（認知症対応型老人共同生活援助事業の経営） 令和3年1月27日登記

5 寄付金品の受領

寄付件数9件 寄付金額220,297円（物品で頂いたものについての相当額を含む）

6 その他

(1) 令和2年度事業計画の重点目標の達成状況

感染症への対応	○	重大事象なし
事業展開に伴う計画管理	○	建設・許認可の進捗状況 達成
感染症による事業環境変化への対応	—	コロナ対策補助金の活用 (各事業所にて対応)

グループホームの開設準備	○	令和3年4月開設
各事業所のICT化の支援	○	クラウド型へ移行(介護部門)
将来を見通した就労環境の整備(継続)	○	令和3年3月就業規則等改正

(2) 地域における公益的な取り組み

ア 社会福祉法人等による利用者負担軽減事業の実施

軽減対象者	16名(月平均)
利用者負担軽減額	2,537,716円
市町補助金	891,411円
法人負担額	1,646,305円

《紫雲の園利用状況について》

令和2年度の紫雲の園入退所状況は、入所者18名、退所者20名であり、退所者の内18名(前年度26人)は施設での看取りであった。年間延べ利用者数は32,497人(前年度32,304人)で稼働率は98.9%(前年度98.1%)であり、目標としていた98%を達成した。

入所者の平均要介護度は、平成28年度は3.36であったが、その後ゆっくりと重度化が進み、平成29年度は3.62、平成30年度は3.73、令和元年度は3.87、そして令和2年度は3.93であり、確実に重度化が進んでいる。

体調変化や検査による入院は、上半期は延べ34日と例年に比べて大変少なかったが、下半期には延べ117日と例年並みであり、年間では延べ151日(前年度185日)で、下半期の稼働率が上半期を下回った要因となった。

年間定員32,850人から延べ利用者、入院者及び外泊を差し引いた201人(床)が空床であり(前年度451床)、利用者が退所をしてから次の利用者が入所するまでに平均10.3日を要していることとなる(前年度15.6日)。

令和2年度は1月以降に退所者や入院者が多く稼働率が例年並みであったが、長期間の空床が発生しない取り組みが継続して徹底できている事に加えて、上半期の稼働率が非常に高水準であった事から、年間稼働率は98.9%となった。上半期の入院者数が極端に少なかった事も、稼働率を押し上げた要因であるが、下半期は例年以上の入院者数であり、特に3月以降の入院者が長期化する見込みであるため、次年度の利用率に大きく影響を与える要因となっていく事が考えられる。

〈参考資料：別表1〉

資料1：保険者別入所者数

保険者	男	女	計
袋井市	15	64	79
磐田市	0	3	3
掛川市	1	2	3
静岡市	1	0	1
鴨川市	0	1	1
大垣市	0	1	1
計	17	71	88

資料2：年齢別入所者数

才	男	女	計
～65	0	0	0
～70	0	1	1
～75	7	3	10
～80	4	4	8
～85	2	13	15
～90	3	16	19
～95	1	25	26
～99	0	8	8
100～	0	1	1
計	17	71	88
平均年齢			
男性 78.4歳			
女性 88.5歳			
全体 86.6歳			

資料3：身元引受人の状況

続柄	人数
配偶者	7
子供(子の配偶者)	67
孫	0
(義)兄弟姉妹	6
親戚	3
後見人	2
その他	3
計	88

資料4：在所期間別入所者数

年	男	女	計
1年未満	3	11	14
～2	5	14	19
～3	3	11	14
～4	2	6	8
～5	0	5	5
～6	1	7	8
～7	0	3	3
～8	0	2	2
～9	2	7	9
～10	0	1	1
～11	0	1	1
～12	0	0	0
～13	0	1	1
～14	1	1	2
～15	0	0	0
15年以上	0	1	1
計	17	71	88
平均入所期間		3年11カ月	

令和3年3月31日現在

資料5：退所者の状況

年齢	性別	退所理由	在籍日数
80	女	看取り	805
85	女	看取り	572
101	女	看取り	80
93	男	看取り	1622
101	女	看取り	347
91	女	看取り	1373
88	女	看取り	22
84	女	入院	360
89	女	看取り	3053
95	女	看取り	1091
102	女	入院(看取り)	949
89	女	看取り	583
89	女	看取り	3147
82	女	看取り	400
90	男	看取り	318
76	男	看取り	1610
97	女	看取り	372
94	女	看取り	2170
89	女	看取り	4856
83	女	看取り	312
退所者20名の内 施設での看取りは18名 (令和元年度は26名)			

《紫雲の園短期入所利用状況について》

短期入所の稼働率については、長期利用の申し入れを積極的に受け入れる事によって、利用率が大きく改善し、年間の利用率は75.4%(前年度67.1%)となり、目標としていた70%を達成した。

また、長期利用者の多くが特養の入所待機者であったため、特養の空床が発生した場合に短期入所からスムーズに入所に移行する事が出来た。これにより特養入所稼働率が大きく向上した事に加えて、ご利用者は大きな環境の変化を受ける事無く、安心して入所を迎える事が出来るため、今後も短期入所の長期利用については、有効に活用していきたい。

〈参考資料：別表2〉

《事業計画の進捗状況》

《ご利用者の視点》地域や家族との関りを深めるために、慰問の受け入れ、外部イベントへの参加、外出の機会を増やします。

担 当	取 り 組 み	結 果 (評 価)	
全 体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四半期毎の行事担当及び相談員が相談のうえ、期中に必ず1回以上慰問の受け入れを実施する。 ・ 各棟で2ヶ月に1回以上外出を企画し実施する。 	<p>新型コロナウイルスの発生が騒がれはじめ、その後の感染拡大が想像出来ない段階で立案された目標であるため、外部との交流を主眼に置いているが、結果として外部との交流を極力遮断する事に注力する1年間であった。アフターコロナにおいて外部との交流がどのように行われていくべきであるか、これから考えていく必要がある。</p>	
相 談	地域の祭りやイベントへ年間4回参加の参加。	感染対策により自粛した。	
医 務	慰問や子供たちとの触れ合い、アニマルセラピー等を年間2回実施する。	感染対策により自粛した。	
介 護	花 北	<p>家族との関りを増やすためにご利用者の日常や行事の様子を3ヶ月に1回発送する書面にして家族へ郵送する。</p>	<p>上半期には2回の発送が予定通りに出来たが、下半期には他の業務におわれ、準備が整わなかった。コロナ禍で面会が制限されるなかで、特に重要視されるべき目標であったが、記録システム入替えや職員の入れ替わりなどで時間を割かれてしまい、目標を達成出来なかった事が非常に残念である。</p>
	花 南	「食べる」事での楽しみと喜びを利用者様に感じて頂けるように、年間6回のおやつレクや食事レクを行う。	1年間を通して、2ヶ月に1回のペースで企画実行する事が出来た。ご利用者、職員共に普段見られない笑顔が見られ、閉塞感を感じざるを得ない1年間の中で、ひと時の楽しい時間を過ごす事が出来た。
	森 北	外部との関りを持ったレクリエーションを半期に1回実施する。	感染対策により自粛した
	森 南	ご利用者様に楽しみ、満足感を得てもらうために、毎月行事を実施し、その内2回以上は外出を伴う行事を実施する。	年間2回の外出行事は自粛となったが、毎月の行事は月の担当を決めて、予定通り実施出来た。新しい企画も多く、ご利用者からは好評であった。
給 食	給食委員と相談しながら、季節ごとのイベントメニューやご利用者参加型のバイキング等を、半期に2回実施する。	嗜好調査や給食委員からの意見をもとに、年間4回の食事レクが実施出来た。他の楽しみが少ない1年間であったため、食事の楽しみはとても重要であると位置付け、多くの職員が協力して実施する事が出来た。	

〈財務の視点〉 質の高い福祉サービスを永続的に提供し続けるために、高水準なサービス

利用率の維持を目指します。

担 当	取 り 組 み	結 果(評 価)
全 体	営業活動、情報発信、サービス向上等、利用率向上に繋がる行動目標を各部署が立案し、入所稼働率98%、短期入所稼働率70%を達成する。	入所上半期99.4%・下半期98.4% 短期入所上半期76.4%・下半期74.4% 共に必達目標を達成したが、前年同様下半期の稼働率は若干ではあるが低下している。
相 談	入所稼働率98%以上を達成するために、優先入所会議で男性1名、女性3名の実待機者がいる事を目指す。	下半期に退所者が集中したため、一時的に実待機者がいない状況があった。この傾向は例年見られているため、半期毎の目標設定をしていく必要がある。
花 南	短期入所稼働率の維持と、クレーム発生の防止を目的として、短期入所利用時の人為的ミスが0件である事を目指す。	以前から多く見られた持ち物チェックのミスが今年度も散見された。職員の意識のあり方だけでは0件にはならないため、持ち物管理のシステムを見直す必要がある。
給 食	厨房職員に体調不良者が出た時の対応を迅速に行い、周囲への感染を防ぎ、衛生事故0件を達成する事によって稼働率向上に貢献する。	感染症の発生は無かったが、毛髪等の異物混入事例が数件見られた。職員の衛生管理や、設備の点検を徹底して、衛生事故を無くしていきたい。

〈業務の視点〉 職場内での情報共有や、外部への情報発信を活発に行うために、施設全体で

ICT技術を活用します。

担 当	取 り 組 み	結 果(評 価)	
全 体	介護記録電子化までの工程表を作成したうえで達成率を数値化し、進捗管理を行う事により、年度末には施設内の記録が全て電子化されている事。	ノートパソコンやタブレット端末等のハードウェアの導入や、介護支援システム等のソフトウェアの導入は予定通り実施されたが、新型コロナの影響で、予定されていたシステム導入研修が対人から動画視聴に切り替わり、その影響で当初の予定より遅れて進められている。次年度へ持ち越して達成すべき目標として、取り組みを継続していく。	
相 談	ICT化により業務を効率化する事によって、サービス担当者会議を月に10回以上開催する。	タブレット端末等の持ち運びが出来る機器の導入により、介護現場のどのスペースでも担当者会議を行う事が出来るようになり、効率的に開催できた。	
機 能 訓 練	毎月1回、振り返り評価を実施し、その情報を職員が共有する事で、ご利用者に対して同一の対応で接する。	計画通り、1年を通して振り返り評価と情報共有を行う事が出来た。対応については職員個々のスキルに開きがあるため、全体の底上げを目指していきたい。	
介 護	花 北	朝の申し送り時に連絡ノート、事例、ヒヤリの情報を口頭で伝達し、職員間の情報共有を確実に進行。	年間通して実施し、習慣化する事が出来た。職員全員が棟内の最新の情報を共有することにより、チーム力が向上した。
	花 南	居室担当が、利用者様の現況を把握し、カンファ等での確に説明できる事を目的として6月にアセスメントを作成し、9月、12月、3月に更新する。	4月当初の準備段階では計画通りに開始できたが、その後は他の業務に押されて、更新できていない状態が見られた。

介護	森北	iPad導入などの施設内のICT化に、全体の進捗に添って取り組む。	全体の状況と同じく、導入工程に若干の遅れが見られたが、可能な範囲内の習得は進められている。
	森南	職員同士の情報共有を強化するために、iPadの活用、連絡ノートの読み上げを全職員が実施する。	iPad及び連絡ノートからの情報共有は目標通りに実施出来ている。今後は徐々にiPadの比重を高めていき、来年度中には完全に移行する。
給食		ICT化に対応し、業務効率を上げる事により、残業0時間を目指す。	年間を通して残業0時間を達成できた。介護支援システムへの移行も順調に推移しており、来年度中の完全移行を目指していく。
事務		リネン庫内の雑貨類管理のiPad直接入力を実現にして、事務職員同士の情報共有を図る。	年度当初から様々なアプリケーションを検索したが、使用したい状況にマッチしたアプリが見つからず、計画が停止している。

〈人材の視点〉福祉サービスの従事者として求められる人格を形成するために「人間力を高める」分野の研修を積極的に受講します。

担当	取り組み	結果(評価)	
全体	衛生、リスク、身体拘束委員会の定期研修に加え、半期に1回以上の法人内研修を開催する。外部研修については参加状況を把握し、未参加者には随時研修情報を提供する。	内部研修については、多人数が集合して実施する事を避けるために動画視聴や資料配布を行い、感想文を提出する形式で行った。外部研修は、ほとんどがWeb開催であり、いくつかの研修には参加したが、その形式に慣れていないために戸惑う職員も見られた。暫くは同じ状況が続くと思われるため、Web研修に対する理解を深めていく必要がある。	
相談	コミュニケーションに関する研修へ1人1回以上参加する。	感染対策により自粛した	
医務	施設研修すべてに参加し、毎月1回振り返り評価を実施する事により、研修に参加した成果が現場で活かせるようにする。	感染対策により自粛した	
介護	花北	介護技術の向上を図るために、4か月に1回、テーマを決めて、棟会議の時間を利用して棟内研修を行う。	計画通り年間3回の棟内研修を実施する事が出来た。特に新入職員にとっては、コロナ禍において数少ない研修の機会であるため、今後の情勢を見つつ継続して実施していきたい。
	花南	外部の行事やイベントに、3ヶ月に1回、年間4回以上参加する。	感染対策により自粛した
	森北	外部との関りを持ち、交流を深め、知識を増やすために、2ヶ月に一度以上の頻度で外部研修へ職員を参加させる。	感染対策により自粛した
	森南	介護職としてのスキルアップを目指すために、内部研修へ6割以上参加するとともに、全職員が外部研修へ年間1回以上参加する。	感染対策により自粛した
事務	来園者全員に対して、言語的コミュニケーションに注意しながら対応する事によって、接遇に対する苦情が0件である事を目指す。	コロナ禍における電話や窓口の応対は、普段と違い難しいケースもみられたが、接遇に対する苦情は0件であったため、目標は達成できた。	

《新型コロナウイルスの影響による面会制限の状況》

2020年 2月29日から6月30日まで : 厚生労働省からの助言事項を受けて、初の面会制限を実施

2020年 8月 1日から9月22日まで : 全国的な感染拡大、県内の感染状況から2回目の実施

2020年11月 9日から現在まで : 静岡県新型コロナウイルス警戒レベル4を受け3回目の実施

《外出・外泊等の状況》

施設イベント外出件数: 0件0名 家族外出実施件数: 0件 外泊実施件数: 0件

《苦情対応・事例報告等の状況》

外部から		内部報告		外部へ	
苦情受付	2	ヒヤリハット	400	(保険者へ)事故報告	8
ご意見・ご提言	0	事例・アクシデント	271		

《防災訓練の実施状況》

実施月	4月・5月・10月・3月	6月・9月・11月・2月	7月・12月	8月・1月
訓練内容	設備、マニュアル等の周知	地震及び地震からの火災	火災	風水害

《食事の提供状況》

(1) 年平均1日あたり摂取栄養量

	熱量 k c a l	蛋白質 g	脂肪 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン C mg	ビタミン A Mg	ビタミン B 1 mg	ビタミン B 2 mg
基準量	1488	55.8	33~50	519	5.2	80	472	0.84	0.96
摂取量	1546	55.8	42.2	465	8.4	63.6	577	1.0	0.81

レチノール当量

(2) 一日あたり1名平均給食材料費 585円

(3) 調理内容 (入所利用者の食数)

主食	米飯	軟飯	粥	ミキサー粥	ゼリー	経管栄養	計
	24	23	26	11	5	1	90
副食	常食	一口大	刻み	超刻み	ソフト	ゼリー 経管栄養	計
	14	11	26	21	12	6	90

《内部研修への参加状況》

参加研修名	日程	主催	参加人数
衛生研修会(食中毒)	資料配布とアンケートの形式で5月に実施	衛生委員会	62
喀痰吸引研修(資格所持者向け)	7月6日・21日	看介護連携委員会	11
オムツを必要とされる方へのケア	10月14日 19:00~20:30	排泄委員会	14
身体拘束廃止研修会	動画視聴とレポート提出の形式で10月に実施	身体拘束委員会	62
衛生研修会(感染症)	資料配布とアンケートの形式で11月に実施	衛生委員会	62
身体拘束廃止研修会	身体拘束に対する意識調査の形式で3月に実施	身体拘束委員会	62
合計			273
職員 1 人あたり			4.4

《外部研修への参加状況》

参加研修名	日程	主催	参加人数
認知症介護実践者研修	9月3日～6日間	静岡県社会福祉人材センター	中止
ケアマネ、相談員研修	10月13日	白寿園研修センター	3
新型コロナウイルス感染症対策を中心とした感染予防研修	10月26日	西部健康福祉センター	1
静岡DCAT登録員エリア別情報交換会	10月29日	静岡県社会福祉協議会	1
ゲートキーパー養成研修会	11月12日	袋井市	1
介護保険制度改正研修(Web)	1月26日	白寿園研修センター	5
接遇マナー研修会(Web)	1月27日	静岡県老人福祉施設協議会	6
介護保険制度改正研修(Web)	2月25日	白寿園研修センター	1
介護保険制度改正研修(Web)	3月10日	静岡県老人福祉施設協議会	1
中東遠地区職種別研究会(短期入所)	書面による質疑交換	中東遠地区特養連絡会	1
中東遠地区職種別研究会(医務)	書面による質疑交換	中東遠地区特養連絡会	1
中東遠地区職種別研究会(介護)	書面による質疑交換	中東遠地区特養連絡会	1
中東遠地区職種別研究会(給食)	書面による質疑交換	中東遠地区特養連絡会	1
中東遠地区職種別研究会(ケアマネ)	書面による質疑交換	中東遠地区特養連絡会	1
中東遠地区職種別研究会(事務)	書面による質疑交換	中東遠地区特養連絡会	1
中東遠地区職種別研究会(相談員)	書面による質疑交換	中東遠地区特養連絡会	1
中東遠地区職種別研究会(防災)	書面による質疑交換	中東遠地区特養連絡会	1
合計			27
職員 1 人あたり			0.4

《身体拘束廃止への取り組み状況》

存在拘束数	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
対象人数	1	1	2	1	0	0
拘束件数	1	1	2	1	0	0

《ボランティアの受け入れ状況》

慰問	団体(個人)数	0	団体	実施回数	0	回
作業	団体(個人)数	0	団体	実施回数	0	回

《実習・体験学習等の受け入れ状況》

(1) 実習の受け入れ

0	件	0	名	0	延日
---	---	---	---	---	----

・新型コロナウイルス感染対策により全て中止

(2) 体験学習等

0	件	0	名	0	延日
---	---	---	---	---	----

・新型コロナウイルス感染対策により全て中止

区分	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年間			
	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	日数	点数		
要介護1 (547)	2	60	2	62	2	60	2	55	2	62	2	60	2	62	2	60	2	62	2	62	2	56	2	62	723	395481		
要介護2 (614)	4	120	3	93	3	90	3	93	3	93	3	90	1	31	1	30	1	31	1	31	1	28	1	31	761	467254		
要介護3 (682)	25	749	26	789	27	810	26	806	25	775	25	702	25	764	21	629	21	620	21	611	20	509	19	582	8346	5691972		
要介護4 (749)	37	1064	36	1116	35	1050	33	1022	35	1053	35	1022	36	1086	39	1121	37	1136	37	1100	40	1007	39	1098	12875	9643375		
要介護5 (814)	24	696	23	704	23	682	26	806	26	799	27	796	28	812	30	833	30	906	31	939	31	868	31	951	9792	7970688		
計	92	2689	90	2764	90	2692	90	2782	91	2782	92	2670	92	2755	93	2673	91	2755	92	2743	94	2468	92	2724	32497	24168770		
加算	日常生活 (36)	2689		2764		2692		2782		2782		2670		2755		2673		2755		2743		2468		2724		32497	1169892	
	看護Ⅰ (4)	2689		2764		2692		2782		2782		2670		2755		2673		2755		2743		2468		2724		32497	129988	
	看護Ⅱ (8)	2689		2764		2692		2782		2782		2670		2755		2673		2755		2743		2468		2724		32497	259976	
	夜勤Ⅰ (13)	2689		2764		2692		2782		2782		2670		2755		2673		2755		2743		2468		2724		32497	422461	
	栄養ケア (14)	2689		2764		2692		2782		2782		2670		2755		2673		2755		2743		2468		2724		32497	454958	
	機能訓練 (12)	2689		2764		2692		2782		2782		2670		2755		2673		2755		2743		2468		2724		32497	389964	
	初期 (30)	51		43		16		0		0		0		3		38		15		46		60		50		322	9660	
	外泊 (246)	0		6		0		7		4		3		9		7		12		6		3		7		64	15744	
	退所前連携	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	0	
	退所前相談 援助加算	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	0	
	看取り	(144)	8		0		0		0		0		0		0		9		5		6		20		5		53	29952
		(680)	2		0		0		0		0		1		0		2		0		3		4		2		14	
(1280)		2		0		0		0		0		2		0		1		0		2		2		1		10		
食費算定日数	2689		2764		2692		2782		2782		2670		2755		2673		2755		2743		2468		2724		32497			
居住算定日数	2689		2770		2692		2789		2786		2673		2764		2680		2767		2749		2471		2731		32561			
日用品算定日数	2689		2764		2692		2782		2782		2670		2755		2673		2755		2743		2468		2724		32497			
預金管理	2		2		2		3		3		3		3		3		3		3		3		2					
稼働率	99.59%		99.07%		99.70%		99.71%		99.71%		98.89%		98.75%		99.00%		98.75%		98.32%		97.94%		97.63%		98.93%			
平均介護度	3.82		3.83		3.82		3.87		3.87		3.90		3.93		3.99		4.01		4.03		4.05		4.04		3.93			
新入所数	2		1		0		0		1		2		2		2		1		4		3		2		20			
退所者数	3		0		0		0		1		2		2		2		1		2		4		1		18			
入院人数/日数	1	2	1	9	1	8	2	8	1	4	1	3	2	22	2	9	2	24	1	27	1	3	2	32	151			
法人減免対象数	14		13		13		13		14		15		17		16		16		15		15		15					

令和2年度 紫雲の園短期入所利用実績報告

別表 2

区分	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年間	
	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数		
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	3	
要支援2	1	3	0	0	1	3	1	3	1	2	1	2	1	3	1	3	1	3	0	0	0	0	1	10	32	
要介護1	7	40	5	42	5	30	4	51	5	59	6	53	6	42	7	47	7	57	5	33	2	6	3	15	475	
要介護2	8	48	5	30	6	45	8	71	9	49	10	61	11	80	10	93	10	81	11	66	12	92	14	117	833	
要介護3	2	11	1	6	2	15	3	39	2	41	3	49	3	45	2	14	2	12	2	18	3	11	3	10	271	
要介護4	3	47	1	31	2	32	3	39	4	42	3	14	2	26	2	17	1	31	4	89	6	93	3	79	540	
要介護5	3	42	3	64	3	48	4	57	3	54	3	35	1	2	3	13	1	2	1	2	1	2	1	2	323	
計	24	191	15	173	19	173	23	260	24	247	26	214	24	198	25	187	22	186	23	208	25	205	26	235	2477	
加算	サ提供加算 1(12)	191		173		173		260		247		214		198		187		186		208		205		235		2477
	夜勤配置 (13)	188		173		170		257		245		212		195		184		183		208		204		223		2442
	送迎 /(184)	46		20		35		42		43		63		47		43		38		45		56		70		548
稼働率	70.7%		62.0%		64.1%		93.2%		88.5%		79.3%		71.0%		69.3%		66.7%		74.6%		81.3%		84.2%		75.4%	
平均介護度	2.97		3.26		3.08		2.89		2.91		2.58		2.28		2.18		2.09		2.81		2.95		2.57		2.72	

令和2年度 浅羽デイサービスセンター 事業実績報告

1. 事業の概要

◆通所介護（含 現行相当サービス）

- ①所在地：〒437-1101 静岡県袋井市浅羽 4140 番地
- ②名称：浅羽デイサービスセンター
- ③営業日：月～土曜日(含 祝日)営業。(休業日：日曜日、年末年始(12月30日～1月3日))
- ④営業時間：8時～17時
内サービス提供時間：通所介護… 9時20分～16時30分(基本利用時間7～8時間)
現行相当サービス…10時30分～15時00分(指定なし)
- ⑤加算：通所介護 …………… 入浴介助加算、認知症加算、個別機能訓練加算Ⅰ、個別機能訓練加算Ⅱ、サービス提供体制強化加算Ⅰイ、介護職員処遇改善加算Ⅰ、特定処遇改善加算Ⅰ
現行相当サービス …… 口腔機能向上加算、運動器機能向上加算、生活機能向上グループ活動加算、サービス提供体制強化加算Ⅰイ、介護職員処遇改善加算Ⅰ
- ⑥対象者：概ね65歳以上の高齢者であり、
通所介護 …………… 要介護1から5までの認定を受けた者
現行相当サービス …… 要支援1または2・事業対象者の認定を受けた者
- ⑦定員：50名/日
- ⑧実施区域：旧浅羽町、袋井市岡崎・山崎、及び袋井市内の松袋井・新池地区の一部・柳原・南町・砂本町・清水町・青木町・小川町・上田町・大門二丁目・大門三丁目・豊沢、磐田市豊浜・南御厨地区。

◆通所型サービスA（基準緩和サービス）

- ①所在地：〒437-1101 静岡県袋井市浅羽 4140 番地
- ②名称：浅羽デイサービスセンター 通称：茶ろん
- ③営業日：月～金曜日(含 祝日)営業。(休業日：土・日曜日、年末年始(12月30日～1月3日))
- ④営業時間：8時～17時
内サービス提供時間：10時20分～15時30分
- ⑤対象者：65歳以上の高齢者 ……要支援1または2・事業対象者の認定を受けた者
- ⑥定員：15名/日
- ⑦実施区域：袋井市立浅羽中学校区内（旧浅羽町、袋井市岡崎・山崎）

※職員の入退職職、異動は次の通り。

5月	看護師（常勤）	1名入職
6月	介護職員（非常勤）	1名退職
10月	介護職員（非常勤）	1名入職
	運転手（非常勤）	1名退職
11月	運転手（非常勤）	1名入職
	運転手（非常勤）	1名退職
12月	運転手（非常勤）	1名入職

…以上 入職者4名、退職者3名
介護職員（非常勤）1名が令和元年度に引き続き、育児休業取得中。

2. 稼働状況

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響が懸念された。ご利用者様の中には、感染が心配だという理由で欠席される方や緊急事態宣言が発出されたため当事業所から利用を控えて頂くケース等があった。しかし、稼働率は、延べ人数 12,141 名と過去 5 年間で最高の数値であった。実利用者数は前年度より 12 名少ない 123 名であったが、高水準を維持できたのは、除籍者が 29 名と少なかったことが要因と考えられる。

新規利用者数 30 名のうち、外部居宅介護支援事業所からの紹介者は 6 名と少なかった。通所介護利用者の年度末の登録者数は 91 名、内、外部居宅介護支援事業所からの紹介利用者数は 11 名と依然として少ない状況である。

修了者の理由は急性期病院に入院された方が一番多く、次いで死亡の順になっている。急性期病院入院後、在宅に戻って来られる方は少なく入所施設に入所される方やお亡くなりになる方が多かった。

延べ利用者数、実利用者数は次の通り。

(表-1)

	延べ利用者数 (名)	実利用者数 (名)
平成 28 年度	11,929	138
平成 29 年度	12,133	132
平成 30 年度	12,048	147
令和元年度	11,820	135
令和 2 年度	12,141	123
前年度比	+ 321	- 12

新規利用者数、終了者数は次の通りである。

(表-2)

	新規利用者数	再利用者数	終了者数
平成 28 年度	延べ 45 名 実 42 名	3 名	37 名
平成 29 年度	延べ 31 名、実 28 名	3 名	33 名
平成 30 年度	延べ 50 名 実 47 名	3 名	44 名
令和元年度	延べ 35 名 実 34 名	1 名	44 名
令和 2 年度	延べ 30 名 実 29 名	1 名	29 名

終了者の理由

(表-3)

理 由		理 由	
急性期病院	11 名	他事業所デイ	2 名
死 亡	7 名	グループホームひなた	1 名
回復期リハビリテーション病床、療養病床	3 名	その他	3 名
小規模多機能居宅介護ひなた	2 名		

実利用者 123 名の男女比は、男性 41 名(33%)、女性 82 名(67%)、圧倒的に女性が多い。令和 3 年 3 月時点、在籍ベース（通所介護）でのお一人当たりの平均利用回数は 2.76 回と前年度と大きな差はなかった。また、ご利用者様の平均年齢は 87.1 歳と、昨年と比較し 0.4 歳上回った。

総合事業（現行相当サービス）のみの利用状況と平成 28 年度以降の推移は次の通りである。昨年度と比較すると、延べ利用者数は 365 名減、実利用者数は 5 名減となる。これは、要支援の方が要介護状態になった、また、総合事業（現行相当サービス）の新規受け入れは茶ろんを利用したご利用者様のみと限定させていただいている影響である。1 日平均にすると 3.3 名が利用されたことになる。

(表-4)

総合事業 (現行相当)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延利用者数	104	108	103	104	82	85	89	82	84	67	57	72	1,037名
実利用者数	16	15	15	14	12	12	11	12	12	11	10	11	19名

(表-5)

	延べ利用者数(名)	実利用者数(名)
平成28年度	2,090	40
平成29年度	1,432	29
平成30年度	1,729	25
令和元年度	1,402	24
令和2年度	1,037	19
前年度比	-365	-5

延べ利用者数を要介護度別にみると次の通りである。要介護1が55.7%と圧倒的に多く半数を超え、要介護3・4・5の中重度は15.3%と昨年度より6.8%下回った。令和2年度における平均要介護度は1.62であった。

(表-6)

介護度別		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
平成28年度	名	806	1,284	5,292	1,936	1,231	805	575
	%	6.8	10.8	44.4	16.2	10.3	6.7	4.8
平成29年度	名	363	1,069	5,604	2,490	1,478	678	451
	%	3.0	8.8	46.2	20.5	12.2	5.6	3.7
平成30年度	名	258	1,471	5,675	2,142	1,816	581	105
	%	2.1	12.2	47.1	17.8	15.1	4.8	0.9
令和元年度	名	287	1,115	6,111	1,684	1,287	778	558
	%	2.4	9.5	51.7	14.3	10.9	6.5	4.7
令和2年度	名	140	897	6,758	2,492	852	459	542
	%	1.1	7.4	55.7	20.5	7.0	3.8	4.5

加算サービスの延べ利用者数は次の通りである。入浴は通所介護のご利用者様の80.9%が実施している。機能訓練加算の個別機能訓練加算Ⅰは93.5%、個別機能訓練加算Ⅱは88.7%の方に算定した。認知症加算は2,193名の方に算定した。しかし、認知症の割合が延べ人員の19.7%となり、加算要件の20%を割り込んでしまった。そのため、来年度は認知症加算は算定できなくなった。中重度者ケア体制加算は中重度者が全体の15.3%のため、加算要件の30%に足りず来年度も算定に至らず。

総合事業(現行相当サービス)については、運動器の機能向上加算は100%算定するが、口腔機能向上加算、生活機能向上グループ活動加算の実績はなかった。

(表-7)

加算	通所介護				介護予防通所介護		
	入浴	個別機能訓練Ⅰ	個別機能訓練Ⅱ	認知症	運動器の機能向上	生活機能向上	アクティビティ
平成28年度	8,451名			2,733名			
平成29年度	9,314名			2,471名			
平成30年度	9,365名	8,194名	7,570名	2,251名	201名		
令和元年度	9,112名	9,631名	9,055名	3,060名	215名		
令和2年度	8,982名	10,390名	9,858名	2,193名	149名		
前年度比	-130名	+759名	+803	-867名	-66名		

給付以外のサービスの利用状況は次の通りである。減免対象者は実利用者数 0 名（延べ 0 名）、生活保護受給者は実利用者数 1 名（延べ 12 名）であった。

利用者の介護度の変動については次の通りである。介護度が軽くなった方は 7 名、重くなった方は 32 名と重度化する傾向にある。

(表-8)

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
要支援 1			1				
要支援 2			6				
要介護 1	1	1		13	2	5	1
要介護 2			3		2		
要介護 3						1	1
要介護 4					2		
要介護 5							

実績内訳の詳細は次頁参照。

通所型サービス A（基準緩和サービス）の実利用者数は 32 名、延べ利用者数は 1,048 名と前年度と比較し大きな増加は見られなかったが、全曜日の稼働が達成できた。新規利用者数は 12 名、除籍者は 9 名であった。茶ろんの知名度があまり高くないため営業活動を実施したかったが、新型コロナウイルス感染症の影響で実施せず。

茶ろんから浅羽デイサービスセンター通所型への流れができるよう要支援のご利用者様も受け入れるようにしたが、スムーズに受け入れができず苦慮している。今年度、茶ろんから通所型へ移行された方は 3 名、他事業所通所型を利用された方は 2 名であった。

(表-9)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	20	19	22	22	21	24	23	23	23	23	23	22	32
延べ利用者数	79	74	91	93	79	101	98	88	84	84	86	91	1,048

(表-10)

	延べ利用者数 (名)	実利用者数 (名)
平成 29 年度	398	19
平成 30 年度	787	29
令和元年	998	29
令和 2 年	1,048	32
前年度比	+ 50	± 3

3. 計画の実施状況

(1) ご利用者様の視点

■アンケートを作成し、全ご利用者様に配布、集計する事により、ご利用者様のニーズを把握する。

1月にご利用に関するアンケートを配布した。通所介護のご利用者様には、今年度新規利用以外（規利用者には3か月後に利用アンケートを実施しているため）のご利用者全員に配布し、茶ろんご利用者様には全員配布した。
データを参考に、今後のデイの活動に役立てて行きたい。

(2) 財務の視点

■稼働率 90%（利用者 1 日平均 41 名）を達成する。

90%に到達できたのは、6月の90.6%と12月の90.2%の2回のみであった。平均稼働率は87.3%だった。

○営業活動の継続。

報告書を届けながら月初めに営業訪問を行った。月半ばに営業活動を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、10月～12月に営業に出向いたのみになってしまった。

○ホームページを毎月更新し、内容を充実させる。

毎月、通信紙は掲載したが、その他に、デイサービスをPRする取り組みはできなかった。

○リーフレット作成、配布

リーフレットの配布は、見学に来られた方にはお渡しするが、コロナ禍のため公共機関等への配布は行わなかった。

■一人当たりの報酬単価を上げる。

○加算の算定。

月単位の平均介護度は1.57～1.74、年間の平均介護度は1.62であった。各加算については、入浴介助加算は平均値80.9%、個別機能訓練加算Ⅰは93.5%、個別機能訓練加算Ⅱは88.7%、認知症加算は19.7%の方に算定した。一人当たりの平均単価は9,035円（前年度8,904円）と前年度より131円増であるが、7月より『新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取り扱いについて』で介護報酬を算定した影響が大きい。

(3) 業務の視点

■事例、ヒヤリ・ハッと報告書を基にリスクマネジメントを行う。

○毎月、ケース会議の中で、検討会を行い、再発防止に努めた。

(4) 人材の視点

■接遇をテーマにQC活動を行う。

評価期間 : 11月2日 ～ 12月29日

実施方法 : 評価項目10項目を定める。

日毎に当番を決め、「全体」と「個人」それぞれを評価する。

結果 : 取り組んだ当初は緊張感もあるが意識が薄れてくるため、次年度も継続して取り組んでいく必要がある。

■研修参加

○内部研修

2回/月のケース会議の他、防災や緊急時の対応・感染症、QC活動等の研修を7回実施した。

○外部研修

新型コロナウイルス感染症の影響でほとんど参加できなかった。

4. 日 課

浅羽デイサービスセンターの1日の流れは次の通りである。

事業 時間	通所介護	総合事業（現行相当サービス）
	サービス提供時間：9：20～16：30	
8:00	送迎	
9:00	手洗い・うがい	
9:20	湯茶サービス バイタルチェック	
10:00	↓ 午前の活動（脳トレーニング、レクリエーション、機能訓練等）	送迎
10:30	入浴 湯茶サービス ↓	↓ 手洗い・うがい 湯茶サービス バイタルチェック
11:00	手洗い・うがい 嚥下体操	午前の活動（脳トレーニング、レクリエーション、生活機能向上グループ活動等） 入浴 湯茶サービス
12:15	昼食 口腔ケア	昼食 口腔ケア
13:30	午後の活動（機能訓練、レクリエーション、趣味活動、季節の行事等）	運動器機能向上 ドリンクサービス
14:00	ドリンクサービス	午後の活動(レクリエーション、季節の行事等)
14:30		手洗い・うがい おやつ
15:00		送迎 ↓
15:15	手洗い・うがい	
15:30	おやつ	
16:00	カラオケ 帰りの挨拶	
16:30	送迎 ↓	
18:00		

(1)送 迎

リフト付車両(ハイエース)3台、普通自動車(シエンタ)1台、スロープ付自動車(ノア)1台、スロープ付軽自動車(タント)1台、計6台の車両使用。

朝は8時00分、帰りは16時30分に出発した。可能な限りご利用者様ならびにご家族様の状態やご要望に応じて送迎車両や送迎時間を融通した。また、7時間未満でのご利用者様にも対応した。ご利用者様のその時々体調や身体状況に配慮して、個別送迎やベッドからベッドまでの送迎、職員2人体制での送迎等、必要に応じて随時変更し、柔軟に対応した。

大きな事故もなく、安全に送迎を行うことができた。

(2)入 浴

ご利用者様の身体の状態に応じて、適した入浴方法(一般浴・中間浴・特殊浴・個浴)を選択し、安全に配慮して実施した。入浴ができない場合には、ご要望や必要に応じて足浴・陰部洗浄や清拭等を行なった。

洗身及び洗髪の際には、皮膚の観察を充分に行い、皮膚炎や褥瘡等のトラブルの予防に努めるとともに、異常や変化を発見した場合はご家族様に速やかにお伝えし、必要に応じて受診をお勧めした。

ご利用者様のペースでゆっくりと入浴していただくと同時に、自立支援の見地からご自分で行うこと

はできるだけ行っていただくよう援助した。

また、毎月 26 日は入浴の日とし、季節に合わせた入浴剤を使用し、季節の香りを楽しんでいただいた。5 月の端午の節句には菖蒲湯、12 月の冬至には柚子湯を実施した。

(3)食 事

栄養バランスのとれた食事をご利用様の希望や身体的状況に合わせた形態で提供した。嗜好についても調査し、召し上がれない食材や献立の際には代替食をご用意した。

恒例の流し素麺やバイキングはコロナ禍のため中止した。鍋は方法を変えて実施、調理は中止した。

食事前には嚥下体操を行い、摂食時には常に見守り、必要があれば声かけや介助をし、誤嚥による事故の防止に努め安全に召し上がっていただけるように援助した。摂取量の少ないご利用者様には、補助食品の使用等の働きかけも行った。

(4)口腔ケア

ほぼ全員のご利用者様に食後の歯磨きを行っていただいている。ご自分で磨いていただいてから職員が確認し、汚れが落ちていない部分は綺麗に洗っていただくよう助言をしたり、仕上げ磨きをさせていただいた。必要に応じて歯間ブラシや舌ブラシ、スポンジブラシを使用し、口腔内の清潔に努めた。

歯科受診が必要なご利用者様にはご家族様やケアマネジャーに働きかけ、受診に繋げることができた。

(5)ドリンクサービス

到着時、入浴後、昼食時、おやつ時の水分補給以外に、食後の 14 時以降に、ドリンクサービスを実施し、水分補給を兼ねながらお茶のひとつを楽しんでいただくようにしている。

水分摂取量が少ないご利用者様には、脱水等に留意し、水分補給時にお好きな飲み物を提供し、摂取量を多くするよう努めた。また、誤嚥等で水分が摂取できにくい方にはとろみ剤を使用して補給していただいた。

(6)おやつ

季節や行事に合わせたおやつ、誕生会にはお祝いのケーキを提供した。おやつ作りは中止した。

※手作りおやつについては 5. (2) に記載。

(7)排 泄

ご利用様の排尿・排便の時間的パターンを探り、必要な方にのみ、必要なタイミングで、声かけや誘導、身体状況や生活状況に合わせた介助を行うよう努めた。個々のご利用者様の可能性を職員が検証し、能力を最大限活かせるよう、可能な限り排泄動作の自立を促す支援をした。

ご家庭での排泄状況をできるだけ把握し、排便コントロールが必要なご利用者様には介護連絡ノートに『排便チェック表』を貼付しご家族様に助言した。

(8)健康管理

ご利用の際は、予めご自宅で体温を測定していただき、異常がないことを確認してからご利用いただいた。また、乗車前にはアルコール消毒をし、マスク着用を徹底、走行中は窓を開け、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めた。

看護職員が中心となってバイタルチェックを行い、ご利用様のその日の体調を確認させていただいてから、入浴実施の可否の決定、活動内容や静養の必要等、過ごし方を調整した。熱発等の異常があればご家族様に連絡し、早期受診をお勧めし早期治療に努めた。

また、感染症予防の為、センター到着時、昼食前、おやつ前に手洗いとうがいを行っていただいた。毎日、フロア内の温度や湿度を定時にチェック、2 時間ごとに換気、手すり等の消毒も 2 回実施した。

緊急時宅宣言発令の際は、ご家族様にも協力していただき、ご家族様が県を跨ぐ場合や他県の方と接触した場合は、10 日間、利用を控えて頂くなどの対応を取っていただいた。

(9)レクリエーション

※季節の行事、慰問、趣味教室の内容については5. に記載。

(10) 機能訓練の取り組み

機能訓練指導員または相談員、介護職員が居宅を訪問し、生活状況（起居動作、ADL、IADL等の状況）を確認し、個別機能訓練計画を作成し、実施した。その後、3月毎に体力測定（5M歩行、Timed Up&Go、片脚立位、握力）を行い、評価した。併せて、ご利用者様の居宅を訪問し、ご自宅での状況をご家族様に聞き取り、訓練内容の見直しを行った。

個別機能訓練加算Ⅰでは、身体機能の向上を目指し、機能訓練指導員・介護職員が共同し、計画に沿ったプログラムを実施した。

個別機能訓練加算Ⅱでは、生活機能の維持・向上を図り、可能な限り自立して暮らし続けることを目的に機能訓練指導員が5名以下のグループで実施した。

5. 行 事

年間計画にもとづいて、以下の行事を行った。

<通所介護・現行相当サービス>

	内 容			
	季節の行事	慰問・訪問・交流会	趣味教室	その他
4月	誕生会・誕生日ケーキ	中止	壁画、フラワーアレンジメント	通信紙
5月	端午の節句・特別おやつ、新茶サービス、誕生会・誕生日ケーキ	中止	野菜の植え付け、壁画、あずま袋制作、網戸張り、ゴーヤの棚づくり、	通信紙
6月	誕生会・誕生日ケーキ	中止	壁画、メガネケース制作、折りたたみミラー制作、	防災訓練、通信紙
7月	誕生会・誕生日ケーキ	中止	壁画、オリジナルペン制作、野菜の収穫	通信紙
8月	ビンゴゲーム、誕生会・誕生日ケーキ	中止	壁画、壁掛け制作、敬老会記念品作成、スイカの収穫	通信紙
9月	敬老会・特別おやつ、誕生会	中止	野菜の収穫、壁画、マスク作り	通信紙
10月	誕生会・誕生日ケーキ	中止	壁画、ブローチ制作、野菜の種まき	通信紙
11月	誕生会・誕生日ケーキ	中止	壁画、ランプ制作、さつまいも収穫	通信紙、防災訓練
12月	クリスマス会・クリスマスケーキ、誕生会・誕生日ケーキ、柚子湯	中止	壁画、お正月飾り、焼き芋	通信紙
1月	新年会・お祝い馒头、誕生会・誕生日ケーキ	中止	壁画、簡易ベッドの組み立て、ハンガー掛けの組み立て	通信紙
2月	節分、誕生会・誕生日ケーキ	中止	壁画、花飾り作り、野菜の収穫	通信紙
3月	雛祭り・特別おやつ、誕生会・誕生日ケーキ	中止	壁画、マスクケース制作、野菜の収穫	通信紙

<通所型サービス A(基準緩和サービス) 通称：茶ろん>

	活 動 内 容	
	内 容 (行事、趣味活動等)	外 出
4月	カップらく焼き、網戸張り、おやつ作り	桜(諸井河川)、菜の花(桶ヶ谷沼)、チューリップ畑(富里)
5月	花の苗・野菜の苗の植え付け、フラワーアレンジメント、ゴーヤ棚設置	
6月	マスク制作、書道、麻雀・将棋等	
7月	ハーバリウム、壁画作り、七夕飾り作り、書道	
8月	ハーバリウム、壁飾り作り、ビンゴゲーム	
9月	フックろう制作、書道	
10月	ブローチ制作	コスモス(村松)
11月	花籠作り、壁画、クリスマスランプ作り	
12月	門松制作、クリスマスランプ、クリスマスリース、焼き芋	
1月	椿制作、フラワーアレンジメント、大正琴の練習	
2月	壁画作り、ペーパーフラワー作り、フラワーアレンジメント、大正琴の練習	
3月	ペーパーフラワー作り、マスクケース制作、書道	桜(諸井河川)、菜の花(桶ヶ谷沼)、チューリップ畑(富里)

(1) イベント昼食

日々の食事に変化をもたせ食事の時間を楽しんでいただけるようにした。

- ・4月 … カレーを自分で鍋から盛る
- ・9月 … お祝い膳（敬老の日）
- ・2月 … 鍋(鶏団子)、

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のためほとんど実施できなかった。

(2) 特別・手作りおやつ

誕生会にはグリーンハウスのケーキ、季節感のあるおやつ、行事に関連したおやつを提供した。おやつ作りは作る楽しみ、また、自信に繋がるように実施した。

- ◆特別おやつ： 4月 … 誕生日ケーキ
- 5月 … 新茶、練りきり、誕生日ケーキ
- 6月 … 誕生日ケーキ
- 7月 … 七夕おやつ、誕生日ケーキ
- 8月 … 誕生日ケーキ
- 9月 … まんじゅう（敬老会）、おはぎ、誕生日ケーキ
- 10月… 誕生日ケーキ
- 11月… 誕生日ケーキ
- 12月 … クリスマスケーキ、誕生日ケーキ
- 1月 … お祝い饅頭（新年会）、誕生日ケーキ
- 2月 … 節分ロール、誕生日ケーキ
- 3月 … ひな饅頭（桃の節句）、牡丹餅、誕生日ケーキ

- ◆手作りおやつ：4月 … いちごワッフル
- 2月 … お汁粉

※新型コロナ感染症防止のためほとんど実施できなかった。

(3) 慰問

予定はしていたが、ボランティアの受け入れは中止とのことで実績なし。

(4) 趣味の教室

ボランティアを講師に招く活動は実績がなかったが、職員が制作や書道、フラワーアレンジメント等を実施した。

6. 介護相談・介護支援

(1) 介護者ふれあい広場

中止とした。

(2) 通信紙『ぽっかぽか通信』発行

通信紙を毎月1日付で発行、ご利用者様ならびにご家族様、ケアマネジャーに送付し、センターでの活動の様子をお伝えした。文字よりも写真を多くし、より見やすく、わかりやすい紙面にし、皆様に見て読んで楽しんでいただけるものになるよう工夫した。

(3) 『デイサービスご利用アンケート』調査

新規利用の方を対象に、サービス利用から3ヶ月経過した時点でアンケート調査を実施した。ご記入いただいた皆様からは概ね良好との回答をいただいた。ご利用者様の個々の状況に応じた意見・感想・相談については、検討し、即座に実施できることは対応し、『介護計画書』及び日々の援助に反映させた。

- ・対象者：22名（令和2年1月から令和3年12月までの新規利用のご利用者様ならびにご家族様）
- ・回収率：90.9%

【回答結果】

- ・設問1『選んだ理由』：浅羽の施設だから 14名
※複数回答可 家から近いから 11名
ケアマネジャーから紹介されて 11名
見学やお試し利用をしてみて良さそうだったから 3名
近所の人や知り合いが利用しているから 3名
利用時間や料金、サービス内容等が希望にあっているから 3名
インターネットで当センターのホームページを見て 1名
インターネットで県の情報公表のホームページを見て 1名

- ・設問2『利用の感想』：「良かった」「大変良かった」 17(85%)

- ・設問3『職員の対応』：「良い」「大変良い」 19名(95%)

- ・設問4『入浴』：「良い」「大変良い」 12名(60%)

- ・設問5『食事』：「おいしい」「大変おいしい」 13名(65%)

※量については… 主食は適当が17名(85%)、多いが1名、少ないが0名。
副食は適当が15名(75%)、多いが1名、少ないが0名。

- ・設問6『おやつ』：「おいしい」「大変おいしい」 12名(60%)

- ・設問7『送迎時間』：お迎え時間「適当」 20名(100%)

お送り時間「適当」 19名(95%)

利用時間の長さ「適当」 20名(100%)

※変更の要望には、即対応。

- ・設問8『レクリエーション』：「楽しい」「大変楽しい」 7名(35%)

※午前の脳トレで人気の高かった順に①ぬりえ9名、②計算問題4名、③パズル4名と特に大差がなかった。マンネリ化にもなっているため、活動内容の検討が必要だと思われる。

※午後の活動では①体操6名、②園芸3名、③散歩、フラワーアレンジメント2名、④絵手紙、制作1名。

今年度はコロナ感染症の影響で、活動内容が大きく縮小してしまったため、機能訓練を中心とした活動が中心であった。コロナ禍でもできるような工夫しながらできる活動を増やしていく。また、アンケート調査も実施したため、参考にしながら時代に合ったサービスができるよう検討していく。

7. 地域交流

コロナ禍のため、状況に応じてボランティアの受け入れを行った。

(1) さわやかスタッフ(有償)

年間を通じて営業日の9時30分から11時30分の2時間、1日1名、入浴の着脱衣介助や整髪等の作

業を行っていただいた。また、茶ろん補助職員として9時30分から16時00分の5.5時間、1日1名、活動していただいた。他に、事務作業軽減のため1回3時間、1ヶ月に4日程度、日報入力にお越しいただいている。

令和3年3月末現在 計：登録及び活動者 10名

(2) ボランティア

実績なし

8. 人材育成

福祉を学ぶ者にとって現場を知ることは大きな収穫である。要請に応じて状況の許す限り実習生の受け入れを行い、勉強の機会を提供した。指導する立場になることにより、現場の職員にとっても刺激となった。

(1) サマーショートボランティア

実績なし

(2) 職場体験学習

実績なし

(3) 介護等体験(小・中学校教諭の普通免許状授与に関わる)

実績なし

(4) 実習

- ・ 磐田北高等学校福祉科 1年生 2名
令和2年7月20日(月)～22日(水) 3日間

(5) 調べ学習

実績なし

(6) 職員研修

外部研修は、介護職員1名につき1講座参加することを目標に掲げたが、コロナウイルス感染拡大防止で中止になってしまい、ほとんど参加できなかった。

内部研修は、年度計画・反省、感染症、防災、QC活動等の実施。ケースカンファレンスは毎月2回実施した。

- ・ 外部研修 …… 計：6講座 延べ7名参加
- ・ 内部研修 …… 計：7回 実施
- ・ ケースカンファレンス …… 計：21回 実施

9. 防災管理

防災訓練は密になってしまうため、感染状況を見ながら利用者様を含めての避難訓練は1回のみの実施となってしまった。新規職員もいるため、防災マニュアルを見ながら勉強会の機会を設けた。

- ・ 防災訓練 ご利用者様避難訓練 …… 1回実施
計：1回実施 (火災・地震1回) 延べ57名参加

10. 衛生管理

職員の就業前の検温及び体調の申告、ご利用者様の利用当日の検温及び体調の申告依頼、感染症等発生状況の報告、館内ならびに車両内の消毒・清掃、手洗いとうがいの励行等を実施し、日々通常業務として、感染源が持ち込まれないよう努めるとともに、疑われる症状の早期発見、蔓延予防に努めた。また、コロナウイルス感染症の拡大防止のため、一層取り組みを強化し、乗車前の検温、手指アルコール消毒、マスク着用、換気、職員の出勤前の検温、マスク着用を徹底した。

11. 事故防止活動

ヒヤリ・ハッと報告書については、小さな気付きでも危険だと思ったことは書類に記入し、他の職員に注意喚起することにより事故に繋げないように啓発活動に取り組んだ。その結果、167件報告があった。内容については、持ち物の紛失や返却ミスに繋がるケースが一番多く、次いで、転倒のリスクであった。

月2回のケース会議の30分をリスクマネジメントに当て、再発防止策について話し合った。同様のケースについては、少しずつ改善されているものの、引き続き取り組んで行く事により、緊張感を持って業務に当たり、再発防止に繋げる。よっては、サービスの質の向上に繋げていきたい。

事例報告についても同じ内容のものが数件あるため、対応方法を徹底し、再発防止に繋げる。

- ・ヒヤリ・ハッと報告 … 167件
- ・事例報告 … 92件 (内 ご利用者様関連 79件、設備・物品関連 13件)
- ・救急車要請報告 … 0件
- ・業務改善書 … 0件
- ・事故報告(行政提出) … 1件

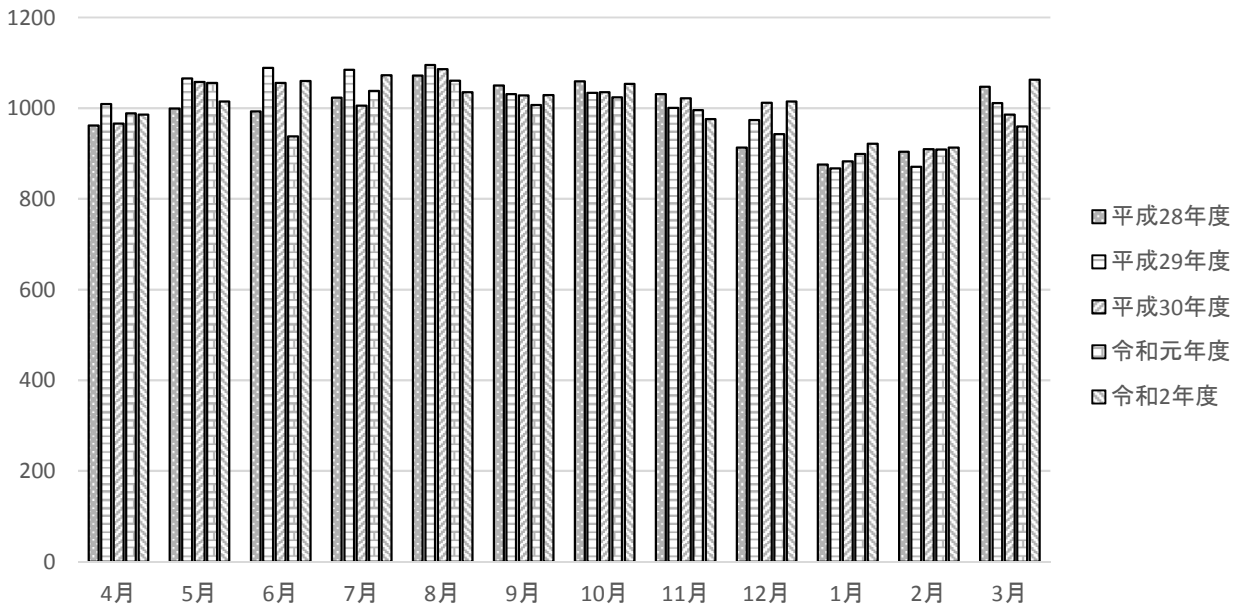
職員の入れ替わりや1日40名のご利用者様がおられる中で、確認・目配り・配慮不足等によるミスが多発した。特に荷物の紛失・返却ミスの件数が多かった。

【事例報告の主な内容】

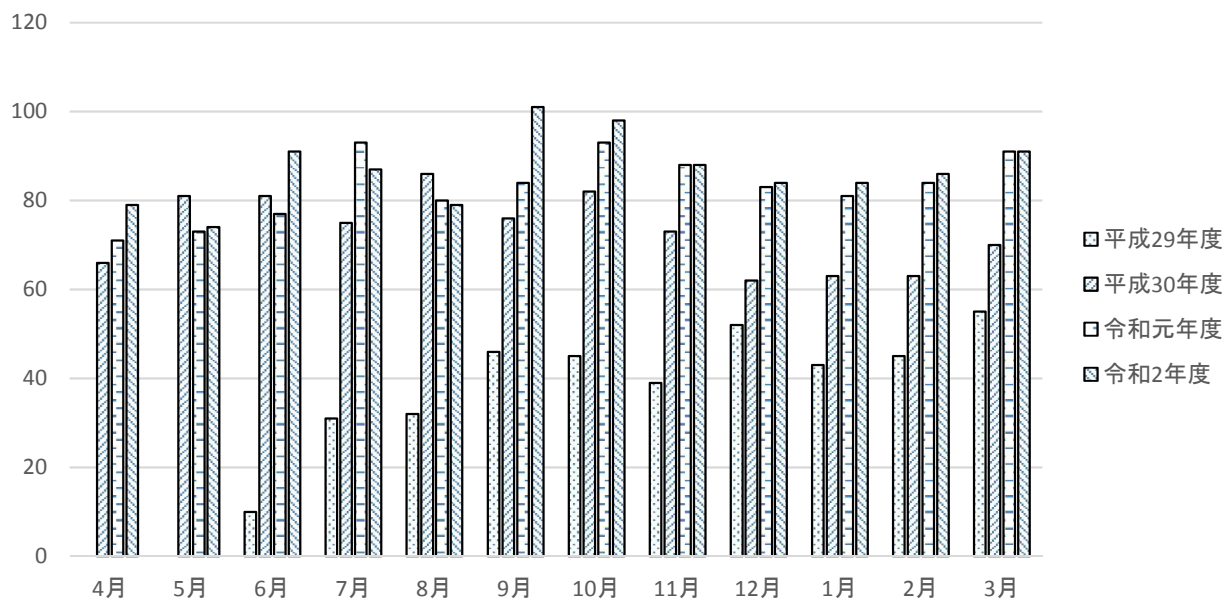
- ・荷物の返却ミス、私物の紛失 … 23件
- ・転倒、ずり落ち … 19件
- ・車両関係 … 8件
- ・怪我 … 6件
- ・持ち物の確認忘れ … 5件

以上

延べ利用者数(通所)



延べ利用者数(通所型サービスA)



令和2年度 浅羽ケアマネジメントセンター 事業実績報告

今年度はコロナ禍にあったため、保険者である袋井市の指針を厳守し、感染症の予防に留意して事業展開をしてきました。今後も感染症の予防またはまん延防止に努め、稼働していきます。

体制

令和2年度事業計画書で示したように、5名の介護支援専門員での稼働でした。

尚、特定事業所加算Ⅱの算定要件を厳守しており、加算を算定しております。

業務

事業計画目標数 165件

(1) 居宅介護支援実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実績件数	154	155	158	171	169	176	174	171	173	171	173	173	2018
R1年度	170	168	167	168	166	164	161	162	162	160	157	150	1955
R2年初回	11	6	8	10	4	12	3	4	5	4	4	8	79

上記の表の数は実際サービスを利用し国保連に請求した数です。

7月以降は目標数を達成できています。

昨年度比 63件増です。

実績件数以外に介護予防の委託があります。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実績件数	20	22	23	22	23	22	23	25	25	27	26	29	287
R1年度	21	21	23	24	26	27	31	31	33	27	24	25	313

昨年度比 26減

利用者受け入れ状況・傾向

利用者の受け入れ状況ですが、支援の依頼はすべて受けています。

依頼はあっても支援に繋がらないケースの傾向としましては、住宅改修のみの方や本人がサービスを拒否する等があります。(家族は利用させたい意向はあるが本人が拒否)

依頼元は、浅羽地域包括支援センターを主としていますが、聖隷袋井市民病院、ご家族より直接電話での依頼もあります。電話での依頼は近くという理由がほとんどです。

介護保険を初めて申請した方は、介護保険サービスについて知識不足の方がほとんどです。親切丁寧な説明を行いサービスに繋げています。

急性期病院からの退院利用者は医療依存度が高いケースもあり、訪問診療機関・訪問看護との連携を図って支援しています。医療との連携がスムーズにとれるようになってきております。

回復期リハビリ病院からの紹介においては、住宅改修、福祉用具貸与の利用が必要な方が、ほとんどで理学療法士と連携を図り退院に向けての支援をしています。

尚、骨折してリハビリ終了後の在宅介護となるため、介護保険更新時にはかなり回復され、自立した生活ができる方が多く認められます。

要介護3以上の方は施設入所したいという傾向は変わりません。(体調の悪化にて急性期病院に入院され、その後は療養型の病院に入所される場合と特別養護老人ホームに入所になり契約終了となる。) よって、要介護3以上の方が施設入所されるので在宅で過ごされる方は要介護1~2の方が殆どで全体の約80%強となっております。

要介護1~2の方で認知症の進行によりグループホーム入所の方は3名でした。

要介護3~5の方の在宅生活継続がなかなか難しいのが現状です。

ひなたへの移行は4名でした。

死去され終了となった方は23名です。

特別養護老人ホームに入所された方は4名です。(紫雲の園2名)

地域との連携・職員資質向上に向けての取り組み

地域内にある事業所と連携を図り、利用者の支援につなげています。

地域にある社会資源を活かしたプラン作成を行うことができます。

また、処遇困難なケースでは地域包括支援センターの主任ケアマネに相談し地域ケア会議の開催を行い、地域包括ケアができるようにしています。

(認知高齢者の方、虐待ケース等)

職員資質向上にむけては、随時、必要な研修に参加する予定でしたが、コロナ禍であるため、ほとんどの研修が実施されず、年度後半に入りオンラインでの研修に参加ができました。

研修に参加していない職員には、資料等回覧し全員周知できるようにしております。

研修内容として、静岡県介護支援専門員会の研修、静岡県看護協会研修、袋井市スーパービジョン、介護保険研究会研修等に参加しました。

年度当初、各自研修目標をたて、質の向上に努めてきましたが、研修の未実施もあったので、目標に対しては継続追及としました。

又、毎週金曜日に居宅会議を開催し、処遇困難事例等を全員で協議して、適切な支援につなぐとともに、職員にもう一度自分の実践を振り返る場となるようにしました。

その他

(1) 令和2年度事業計画の重点目標の達成状況

適切なマネジメントの実施	○	親切丁寧な説明を行い、利用者又は家族が選ぶサービスが展開できるように支援している。
選ばれる事業所となる	△	給付管理数は目標を達成しているが、付加価値の高い事業所を目指す
利用者の生活をよく理解し個別の計画をともに考えて作り支援を必要と人の存在を認め適切な対応ができる	○	法令を厳守 個別の計画を一緒に考えプラン作成に努めた
働きやすい環境作りをし、多職種と連携した活動が地域でできる人材になる。	△	チームアプローチはできているが 専門的知識や技能を磨くことは継続していく。

(2) 加算について

特定事業所加算Ⅱの要件を満たし毎月一人400単位加算があります。

(3) 研修計画目標達成について

各自目標をたて、目標に沿った研修に参加する予定でしたが、コロナ禍であるため、集合して行う研修が実施されなかった。

年度後半にオンラインによる研修に参加したが、目標達成とまではいかなかったので今後も目標を継続しながら質の向上に努めます。

(1) 居宅介護支援実績

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護度1・2	126	131	132	141	140	144	140	139	139	136	134	128	1,630
要介護度3・4・5	28	24	26	30	29	32	34	32	34	35	39	45	388
実績件数	154	155	158	171	169	176	174	171	173	171	173	173	2,018
初回加算	11	6	8	10	4	12	3	4	5	4	4	8	79
医療連携加算(Ⅰ・Ⅱ)	1	6	1	3	4	4	1	1	4	1	3	2	31
退院加算	2		1	2	1	2		1	2	2	3		16
小規模多機能加算				1					1			2	4
運営基準減算													0

(2) 月別新規申し込みと契約終了者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
新規	新規相談者	6	7	7	5	5	3	4	7	7	8	4	5	68
	新規委託(予防)	1	1					2	1		1	2	1	9
	包括支援から転入	4	1		1				1	1	1	1		10
契約終了(入院所※含小規模)	4			1	1	2	3	1	2	3	1	1	19	
契約終了(死亡)	1	2		1	2	4	2	1	1	4	2	3	23	
契約終了(委託)														
契約終了(居宅事業所変更)				1					1		1	2	5	
契約終了(要支援)	1	1					2	1		1	2	2	10	
契約終了(自立)								1					1	
契約終了 合計	7	4		2	4	6	7	4	4	8	7	8	61	

(3) 要介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	101	105	106	113	110	111	107	104	104	103	95	88	1,247
要介護2	25	26	26	28	30	33	33	35	35	33	39	40	383
要介護3	11	9	8	8	8	12	14	12	15	14	16	16	143
要介護4	10	9	11	14	12	11	11	12	12	15	18	24	159
要介護5	7	6	7	8	9	9	9	8	7	6	5	5	86
合計	154	155	158	171	169	176	174	171	173	171	173	173	2,018
要介護3. 4. 5(再掲)	28	24	26	30	29	32	34	32	34	35	39	45	388
割合	18%	15%	16%	17%	17%	18%	19%	18%	19%	20%	22%	26%	19%

(4) 要支援別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	10	10	10	11	11	9	10	11	10	10	8	8	118
要支援2	10	12	13	11	12	13	13	14	15	17	18	21	169
合計	20	22	23	22	23	22	23	25	25	27	26	29	287

(5) サービス事業者別計画作成件数

2. 通所介護(複数事業所利用も含む)

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
浅羽デイサービスセンター	72	70	71	74	73	76	75	74	75	75	76	79	890	59.9%
デイトレーニングセンター和の	12	11	12	11	12	14	14	14	14	14	14	13	155	10.4%
い～な浅羽	11	10	11	11	11	12	13	13	13	13	11	12	141	9.5%
ツクイ袋井	5	4	5	5	5	5	6	5	5	4	5	5	59	4.0%
こころ袋井	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	2	2	43	2.9%
レッツリハビリティ袋井	3	3	3	4	4	3	3	3	3	3	3	3	38	2.6%
きらり	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	1.6%
ケアステーションあさひ	2	2	2	2	2	2	3	3	4	4	3	4	33	2.2%
紅紫萩	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	0.8%
ディアコニア	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	21	1.4%
プラチナ	1	1	1	1	1								5	0.3%
明和からす森	1		1	1	1	1	1						6	0.4%
ラクラス福田	1	1	1	2	2	1	2	1	2	2	2	2	19	1.3%
デイサービス歩み	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	20	1.3%
デイサービスみどり	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	0.8%
SIN太田デイサービス					1	1	1	1	1	1	1	1	8	0.5%
ラクラス福田可睡の杜												1		0.0%
事業所合計	118	112	117	122	124	127	130	126	129	127	125	130	1,486	

地域密着型通所介護														
事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
はまかぜデイサービス	8	9	10	10	10	11	11	11	10	10	10	10	120	56.1%
あかり	2	2	4	4	4	4	3	3	3	3	4	3	39	18.2%
サポートハウスこころ	2	1	2	2	2	2	2	2	3	3	5	2	31	14.5%
なのはな	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1			12	5.6%
グリーン	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	5.6%
デイサービス和合			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
事業所合計	14	14	20	20	19	20	19	19	19	19	21	17	214	

福祉用具貸与

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
ベルメディカルケア浜松	33	33	32	33	32	32	33	32	35	35	33	33	396	34.8%
エコワークス遠州	20	20	24	23	22	25	24	25	25	24	21	25	278	24.4%
トーカイ浜松	9	11	11	12	12	11	12	11	12	11	11	11	134	11.8%
介護ショップちゅーぶ	9	10	11	14	16	15	14	16	15	16	19	20	175	15.4%
らいふケア	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	76	6.7%
メディカル浜松営業所	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	4	4	63	5.5%
ニチケア細島	1	1	1	1	1	1	1						7	0.6%
オレンジ福祉	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		7	0.6%
T-STYLE	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	0.2%
まごころ介護サービス			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
ダスキンヘルスレント						1	1				1			
事業者合計	87	90	95	99	98	99	99	98	101	100	98	101	1138	

訪問介護

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
袋井社協	6	6	7	9	8	8	8	9	7	7	7	7	89	35.7%
セントケア富士見	4	5	6	7	7	7	8	7	7	8	8	8	82	32.9%
アイケア袋井	2	3	5	6	6	6	6	6	6	6	6	7	65	26.1%
ヘルパーステーションゆあらいふ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	4.8%
訪問介護みどり										1			1	0.4%
事業者合計	13	15	19	23	22	22	23	23	21	23	22	23	249	0%

特定事業所集中減算

前期 訪問介護 通所介護 地域密着型通所介護 福祉用具貸与いずれも該当しない。
 後期 訪問介護 通所介護 地域密着型通所介護 福祉用具貸与いずれも該当しない。

令和2年度 浅羽地域包括支援センター 事業実績報告書

体制

住民のみなさんが、安心して住み慣れた地域で暮らせるように、医療・介護・福祉・健康等様々な面から、支えています。心配事や悩みをしっかりと聞き取り、関係機関の紹介及び情報提供と共に各機関と連携をとり解決に職員6名にて取り組みました。

<重点項目>

1. 介護予防・日常生活支援総合事業の推進

助け合い・支え合いの大切さを広く理解していただくために、第2層協議体のメンバーと住民対象のフォーラムを1回開催しました。(浅羽西地区)多くの参加をいただきました。幸浦地区でフォーラムを行う予定でしたが、コロナの拡大の為、中止させて頂きました
でんでん体操立ち上げ支援：4会場(松原、梅山、初越、上区)、継続支援：33会場

2. 在宅医療・介護連携の推進

病院等からの相談事例も多くなりました。今後も医療・介護関係者との情報共有支援、在宅医療連携に関する相談窓口として、地域住民への啓発に取り組みます。

3. 地域ケア会議の推進

今年度も多くの問題を抱えた相談事例が多くありました。前年度同様に、多くの問題を抱えたケースは、関係機関と連携の強化を図り、早期解決に向けて、適切な対応を行い、ネットワークの構築を継続する必要があると感じています。

4. 認知症施策の推進

現在2会場の認知症カフェ(オレンジカフェ)の開催は、定着してきました。他の地区での開催を検討していましたが、コロナ禍の為、足踏み状態になっています。認知症サポーター養成講座につきましては、(民生、児童委員、小学校等)参加していただきました。3密を避ける為に、少人数で開催しました。認知症の相談は、多くなりました。もっと認知症についての理解が深まるように、さまざまな方にも受講していただけるようにしていきたいと感じています。

新型コロナウイルス感染予防対策として、多くの活動ができなかった事が多くありました。そのため、WEB研修等を利用して、多くの研修参加を実施してきました。今年度も地域とのつながりを大切に取り組んでいきます。

令和2年度 実績報告 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

1. 予防給付ケアプラン関係

区分	ケアプラン作成 (延べ人数)			ケアプラン作成 したが未利用 (委託分も含む)	新規作成及び プラン再作成 (委託分も含む)	3月末現在 ケアプラン 委託事業所数
	当センター 作成数	他事業所 委託数	合 計			
要支援1	729	309	1038	26	81	15事業所
要支援2	530	491	1021	20	79	
事業対象	201	0	201	12	89	
合計	1460	800	2260	58	249	
<ケアプラン作成したが未利用者の理由> (委託事業所) *体調不良によりサービス利用なし。 浅羽ケアマネジメント・村松居宅・ディアコニア居宅・ *入 院 い〜な見付・トータルケアひかり・ケアプラン袋井・こころ *死 亡 社協居宅事業所・ケアハウスくるみ・紅紫萩居宅・和の湯 おおふじ五幸・西ノ島の郷・ウエルビー居宅・みつはし						

2. ケアプラン作成のための対応報告

対象者	延人数	延べ回数			
		訪問	来所	電話	その他
要支援・事業対象(延べ)	1460	923	49	1374	112

*包括ケアプラン作成は、前年比67件増でした。

3. 介護サービ別の利用者数 延べ人数

介護サービス別	通所介護(リハ含む)	訪問介護	訪問入浴	短期入所
利用者数	1104	0	0	24
併設施設利用者数	386	0	0	10

*通所A型含め、浅羽デイサービス利用者は29名増でした。

4. 介護予防支援介護給付費報告

	件数	金額(円)	前年度件数	前年度金額	件数増減	金額増減
国保連請求	2260	10222733	2169	9836377	△91	△386356
包括支援センター	1460	6595528	1393	6281676	△67	△313852
他事業所委託	800	3467205	776	3399501	△24	△67704
委託手数料	800	160000	776	155200	△24	△4800

*センターでの件数が多くなりました。支援を受けていただける事業所が少ない為。

5. 相談事業報告書

区分		一般	要支援者 事業対象	介護認定者	合計
延べ人数		1014	2162	214	3390
相談方法 (延べ人数)	訪問	304	1170	30	1504
	来所	64	62	14	140

	電話	828	1202	150	2180
	その他	60	122	39	221
相談内容 (複数記入)	制度説明	85	86	6	177
	介護方法	5	14	0	19
	権利擁護	38	14	22	74
	高齢者虐待	5	0	0	5
	サービス利用について	352	1544	44	1940
	健康について	389	1003	55	1447
	認知症について	156	112	74	342
	ケアマネについて	42	28	8	78
	生活の事	301	278	37	616
	経済的なこと	46	20	8	74
	家族間の事	45	30	16	91
	その他	81	64	10	155
対応 (複数記入)	情報提供	286	325	46	657
	他機関との調整	370	605	103	1078
	申請代行	19	54	0	73
	状況把握	704	1604	164	2472
	その他	70	110	4	184

* 民生委員や病院からの相談が多くなっています。

* 相談内容は、今後のサービス利用について、健康について、認知症についての相談が多いです。

* その他に複数の問題を抱えた相談が目立ちます。

6. ケアマネ支援

延べ人数	54名	困難ケース	40回
相談回数(延べ回数)	125回	ケアマネ同行回数	65回

* 問題が複雑化しケアマネの後方支援で関わるケースが増加しました。

7. 処遇困難ケースの支援

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
対象人数(実)	2	4	6	5	1	4	2
対応回数	29	41	24	19	3	0	6
月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
対象人数(実)	2	4	3	8	8	49	
支援回数	6	0	0	0	17	145	

* 行政及び他機関との連携が今後も必要と感じます。

《把握経路》 ・ 民生委員、地域住民、行政、医療機関

《内容》 ・ 経済困窮、家族問題、地域とのトラブル、ゴミ問題、健康について等

8. PR活動・市の事業参加・講師等

	PR活動		市の事業参加		講師・その他	
	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
市民フォーラム					1	35
民生委員児童委員定例会、高齢福祉部会等					1	10
笠原地区民生委員交流会					3	104
自治会見守りネット連絡会					11	159
サロン（いきいき、新堀）					17	262
地区福祉推進会議					2	58
地域密着推進会議					1	8
認知症サポーター養成研修			1	14		
認知症サポーター養成講座（民生委員等					11	171
でん伝体操普及活動支援					202	2411
認知症カフェ（一歩・いつ福）					49	429
第2層協議体					3	52
認知症推進委員連絡会			1	4		
認知症施策推進会議			5	36		
徘徊SOS説明会					3	48
デンマーク・笠原連合自治会話し合い					3	21
生活支援発会式、準備会					4	152
生活支援に関するCMと意見交換					2	34
生活支援運営委員会					3	80
生活支援ネットワーク連絡会					4	65
シニア支援センター話し合い					1	4
生活支援（移動支援部会）					3	46
生活支援交流会					1	25
幸浦地区自治会長会議					2	30
合 計			7	54	327	4204

*地域支援体制づくりを目的に「でん伝体操」の普及に向けて取り組みましたが、感染拡大時期などは、数か月自粛していた会場もありました。その為、自粛中は、高齢者が自宅できる体操のパンフレットを作成しました。

9. 研修会参加状況

月	日	研修会名	参加者
8月	5日	自立支援型地域ケア会議研修	村主、岡本、水間、竹原、山崎、長谷川
10月	15日	暮らしの足をみんなで考える全国フォーラム	山崎
	17日	静岡県SC研修	山崎
	21日	認知症予防者研修	岡本・水間
	23日	介護支援専門員リーダーフォローアップ研修	水間
11月	13日	静岡県民フォーラム	山崎
	19日	島田市移動支援研修会	山崎
	26日	全社協SC研修	山崎

	29日	認知症サポーター医リーダー研修（オンライン）	水間
12月	7日	SC研究協議会（オンライン）	山崎
	14日	ファシリテーション研修	山崎・竹原
1月	11日	キャラバンメイト研修	村主
	15日	県生活支援コーディネーター研修（オンライン）	山崎
	19日	介護予防従事者研修	岡本
	22日	認知症地域支援推進員現任者研修	水間
	25日	生活支援ボランティア養成講座フォロー研修	山崎
	26日	介護予防従事者研修	山崎
2月	10日	SCスキルアップ研修、火災保険研修（オンライン）	山崎
	12日	介護保険給付適正化研修（オンライン）	村主・岡本・水間
	15日	介護保険改正勉強会研修	村主
	17日	移動事例報告会研修	山崎
	18日	在宅医療・介護連携事業研修（オンライン）	村主
	19日	包括スキルアップ研修（オンライン）	村主
	26日	「保健事業」と「介護予防」一体的実施会	山崎・岡本・水間
3月	14日	業務評価研修（オンライン）	村主
	17日	キャラバンメイト研修（オンライン）	村主・岡本
	24日	サポーターチームオレンジ養成研修（オンライン）	水間

<令和3年度の取り組み課題>

令和2年度は、令和元年同様、新型コロナウイルス感染予防対策として、多くの活動が休止となり、できなかった事が多くあると感じます。次に繋げるために必要なことは、WEB研修等を利用して、多くの研修に参加していきたいと思います。今年度も地域ネットワークを広げ、より身近な相談窓口として、活動の幅を広げます。

10. 職員体制報告

主任介護支援専門員	阿部光子（6月まで）
主任介護支援専門員	村主明光（6月より）
保健師	岡本雅代
社会福祉士	竹原亜美
生活支援コーディネーター	山崎竜弥
認知症地域支援推進員	水間貴子
介護支援専門員	長谷川咲子

1. 認知症サポーター養成講座の積極的開催推進について（別紙参照）

12回、講座を開催し、延べ186名が受講しました。

第五地区民生委員児童委員33名が講座を受講し、認知症についての理解を深めました。

高齢者だけでなく、自治会や健康づくり推進員の協力を得るなど、幅広い年齢層の方に受講していただけるような働きかけが必要だと感じています。

また、今年度は、コロナ禍ということもあり、講座の開催が中止になる会場もあり、予定通り、講座を開催することができませんでした。

2. 認知症カフェの立ち上げ、運営について

オレンジカフェ一歩（別紙参照）

毎週火曜日に開催していますが、コロナウイルス感染拡大防止のため、止むを得ず中止した時期がありました。そのため、開催回数は21回、参加者は、延べ231名でした。

オレンジカフェいっ福（別紙参照）

毎週木曜日に開催していますが、オレンジカフェ一歩同様、コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した時期がありました。開催回数は28回、参加者は190名でした。

今後も引き続き、3密を避け、感染に配慮しながらの開催、状況によっては中止にするなどの対応に努めます。

3. 認知症の人やその家族からの相談支援について（別紙参照）

今年度は236件の相談に対応しました。相談件数は、昨年度の約1.1倍となり、少しずつですが、年々増加しています。

薬局薬剤師の方が、ご本人、ご家族の同意を得た上で、情報提供していただくことが多くなりました。今まで以上に、開業医の先生や薬局との連携を図ることが必要であると感じています。

4. その他

認知症高齢者だけでなく、若年性認知症の方を支援するための地域づくりについて、考えていけたらと思います。

今年度は、コロナ禍のため、多職種連携による研修やキャラバンメイト交流会の開催には至りませんでした。

令和2年度 認知症地域支援推進事業年間報告

1. 医療・介護等の支援ネットワークの構築に関すること

	上半期	下半期	合計
認知症施策推進会議(認知症疾患医療センター・隔月)	2	1	3
認知症地域支援推進員連絡会(月1回・随時)	4	4	8
はいかいSOSネットワーク事業・見守りネットワーク事業の推進	27	32	59
認知症サポーター・キャラバンメイトの活動	8	14	22
認知症サポーター養成講座(別紙参照)	1会場	11会場	12会場
	51名	135名	186名

2. 認知症対応力向上のための支援に関すること

		上半期	下半期	合計
おれんじカフェー歩 (別紙参照)	開催回数	8回	13回	21回
	参加者	65名	95名	160名
	協力スタッフ	22名	28名	50名
	包括職員	9名	12名	21名
	合計	96名	135名	231名
オレンジカフェいっ福 (別紙参照)	開催回数	15回	13回	28回
	参加者	59名	76名	135名
	協力スタッフ	14名	13名	27名
	包括職員	15名	13名	28名
	合計	88名	102名	190名
多職種協働による研修会の企画・実施				

3. 相談支援・支援体制構築に関すること

	上半期	下半期	合計
認知症の人やその家族からの相談支援	123件		236件
「認知症初期集中支援チーム」との連携			

4. その他

	上半期	下半期	合計
県等が開催する研修・連絡会等への参加		5回	5回
その他(介護予防事業研修・介護予防セミナーの参加など)			

認知症サポーター養成講座開催実績

	開催日	開催場所	受講団体・グループ名	受講者数	メイト	延べ人数
1	令和2年6月25日(木)	浅羽東小	浅羽東小4年生、先生	51名	岡本・水間	51名
2	令和2年10月13日(火)	メロープラザ	第五地区民生委員児童委員	7名	山崎・水間	58名
3	令和2年10月16日(金)	浅羽東コミセン	第五地区民生委員児童委員	11名	山崎・水間	69名
4	令和2年10月20日(火)	浅羽東コミセン	認知症予防セミナー	9名	水間	78名
5	令和2年10月21日(水)	幸浦コミセン	認知症予防セミナー	12名	水間	90名
6	令和2年10月22日(金)	浅羽西コミセン	認知症予防セミナー	4名	水間	94名
7	令和2年10月30日(金)	浅羽北コミセン	第五地区民生委員児童委員	8名	岡本・水間	102名
8	令和2年11月6日(金)	幸浦コミセン	第五地区民生委員児童委員	7名	岡本・水間	109名
9	令和2年12月5日(土)	浅羽北コミセン	認知症予防セミナー、北むつみ大	13名	水間	122名
10	令和2年12月9日(水)	袋井東小	袋井東小5年生、先生	49名	水間	171名
11	令和3年3月5日(金)	グループホームひな	職員	13名	山崎・水間	184名
12	令和3年3月19日(金)	笠原コミセン	認知症予防セミナー	2名	岡本・竹原	186名

オレンジカフェー歩 開催実績

(単位 名)

開催日・回数	参加者	協カスタッフ	職員	合計
4. 7(火)				
4. 14(火)				
4. 21(火)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止			
4. 28(火)				
4月計				
5. 5(火)				
5. 12(火)				
5. 19(火)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止			
5. 26(火)				
5月計				
6. 2(火)	9	3	1	13
6. 9(火)	8	3	1	12
6. 16(火)	9	3	1	13
6. 23(火)	8	3	1	12
6. 30(火)	8	2	1	11
6月計	42	14	5	61
7. 7(火)	6	3	1	10
7. 14(火)	天候不良により中止			
7. 21(火)	8	2	1	11
7. 28(火)	9	3	2	14
7月計	23	8	4	35
8. 4(火)				
8. 11(火)				
8. 18(火)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止			
8. 25(火)				
8月計				
9. 1(火)				
9. 8(火)				
9. 15(火)				
9. 22(火)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止			
9. 29(火)				
9月計				
上半期計 8回	65	22	9	96
10. 6(火)	8	3	1	12
10. 13(火)	8	3	1	12
10. 20(火)	9	3	1	13
10. 27(火)	7	2	1	10
10月計	32	11	4	47
11. 3(火)	5	2	1	8
11. 10(火)	8	3	1	12
11. 17(火)	9	2	1	12
11. 24(火)	7	1	1	9
11月計	29	8	4	41
12. 1(火)	8	2	1	11
12. 8(火)	10	2	1	13
12. 15(火)	10	2	1	13
12. 22(火)	6	3	1	10
12月計	34	9	4	47
1. 5(火)	4	2	1	7
1. 12(火)				
1. 19(火)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止			
1. 26(火)				
1月計	4	2	1	6
2. 2(火)				
2. 9(火)				
2. 16(火)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止			
2. 23(火)				
2月計				
3. 2(火)				
3. 9(火)				
3. 16(火)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止			
3. 23(火)				
3. 30(火)				
3月計				
下半期計 13回	95	28	12	135
合計 21回	160	50	21	231

オレンジカフェーいっ福 開催実績

(単位 名)

開催日・回数	参加者	協カスタッフ	職員	合計
4. 2(木)				
4. 9(木)				
4. 16(木)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止。			
4. 23(木)				
4. 30(木)				
4月計				
5. 7(木)				
5. 14(木)				
5. 21(木)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止。			
5. 28(木)				
5月計				
6. 4(木)	5	1	1	7
6. 11(木)	5	1	1	7
6. 18(木)	3	1	1	5
6. 25(木)	4	1	1	6
6月計	17	4	4	25
7. 2(木)	5	1	1	7
7. 9(木)	4	1	1	6
7. 16(木)	5	1	1	7
7. 23(木)	コミセンお休み(海の日)			
7. 30(木)	4	1	1	6
7月計	18	4	4	26
8. 6(木)	3	1	1	5
8. 13(木)	コミセンお盆お休み			
8. 20(木)	2	1	1	4
8. 27(木)	4	1	1	6
8月計	9	3	3	15
9. 3(木)	5	0	1	6
9. 10(木)	4	1	1	6
9. 17(木)	3	1	1	5
9. 24(木)	3	1	1	5
9月計	15	3	4	22
上半期計 15回	59	14	15	88
10. 1(木)	5	1	1	7
10. 8(木)	5	1	1	7
10. 15(木)	6	1	2	9
10. 22(木)	4	1	0	5
10. 29(木)	5	1	1	7
10月計	25	5	5	35
11. 5(木)	7	1	1	9
11. 12(木)	5	1	1	7
11. 19(木)	5	1	1	7
11. 26(木)	7	1	1	9
11月計	24	4	4	32
12. 3(木)	7	1	1	9
12. 10(木)	7	1	1	9
12. 17(木)	5	1	1	7
12. 24(木)	8	1	1	10
12月計	27	4	4	35
1. 7(木)				
1. 14(木)				
1. 21(木)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止。			
1. 28(木)				
1月計				
2. 4(木)				
2. 11(木)				
2. 18(木)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止。			
2. 25(木)				
2月計				
3. 5(木)				
3. 12(木)				
3. 19(木)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止。			
3. 26(木)				
3月計				
下半期計 13回	76	13	13	102
合計 28回	135	27	28	190

令和2年度 生活支援体制整備事業報告

1. 1年間の成果

【成果】

- ・でん伝体操 立ち上げ支援:4会場(松原、梅山、初越、上区)、継続支援:33会場
- ・生活支援推進フォーラム開催:2会場(浅羽西コミセン、幸浦コミセン)の調整を行いました。
- ・広報としては、民生・児童委員、自治会会長会議、笠原・浅羽生活支援ネットワーク会議、サロン、でんでん体操等の出席者に宣伝いたしました。
- ・浅羽西のコミセンでは、大勢の人が参加していただきましたが、幸浦のコミセンでは、コロナの拡大の為、中止とさせていただきます。
- ・地域の皆様の困りごとを解決できるように、地域で支え合う仕組みづくりとして、浅羽・笠原まちづくり協議会の生活支援ネットワーク「支え愛」が発足しました。
- ・生活支援ネットワークの移動支援部会が立ち上がり、二か月1回は、定期会議を開催して、参加しています。
- ・第9回健康寿命をのばそう！アワード(介護予防・高齢者生活支援分野)において、高齢者等とした移動販売事業を市内で開催している「とれたて食楽部、ハニーハニー！」を企業部門で推薦したところ、厚生労働大臣賞の受賞が決定いたしました。
- ・初越でん伝体操のサポーターに働き掛け、10月から立ち上がることになった。
- ・NPO土肥の暮らしを支え合う会 きずなと浅羽・笠原まちづくり協議会生活支援ネットワークとの交流会を企画しました。住民主体の地域を支え活動の交流を、ZOOMを利用して、お互いの活動を紹介し、交流を図りました。(お互いに有意義な交流会ができたことと喜ばれ、又交流会を開催したという声があがりました。)

2. 上半期(4~9月)の活動計画

- ・浅羽・笠原まちづくり協議会 生活支援ネットワーク(有償ボランティアによる生活支援組織)立ち上げを間接的に支援した。
- ・浅羽・笠原まちづくり協議会 生活支援ネットワークに関して、圏域内CMへの普及啓発の為、意見交換会を開催し、オブザーバー含めて34名に参加いただいた。
- ・上区でん伝体操の開催頻度が毎週となるよう働きかけ、9月から毎週開催となった。

令和2年度でん伝体操実績(延べ)

開催場所	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
浅羽北 コミュニティセンター	回数	3	0	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4	44
	人員	16	0	26	28	25	30	34	30	26	38	26	32	311
浅羽西 コミュニティセンター	回数	3	3	4	5	3	4	4	4	4	4	4	4	46
	人員	21	11	26	29	15	20	18	17	16	28	26	32	259
浅羽東 コミュニティセンター	回数	1	2	4	4	3	4	5	3	4	2	2	4	38
	人員	12	42	79	74	60	87	108	64	80	30	33	54	723
幸浦 コミュニティセンター	回数	3	0	5	4	4	4	4	3	2	3	2	4	38
	人員	27	0	65	43	38	48	58	44	24	48	25	55	475
笠原 コミュニティセンター	回数	3	2	4	4	3	4	5	4	4	3	3	4	43
	人員	14	10	19	24	15	21	31	29	29	21	23	23	259
諸井公会堂	回数	0	0	0	5	1	4	5	4	0	0	0	0	19
	人員	0	0	0	90	16	73	83	61	0	0	0	0	323
山の手公会堂	回数	0	0	0	5	3	4	5	4	4	4	4	4	37
	人員	0	0	0	77	30	41	45	39	37	39	41	31	380
浅羽防災センター	回数	0	1	5	4	4	4	4	4	0	0	0	5	31
	人員	0	20	123	97	113	100	105	112	0	0	0	115	785
馬場集会場	回数	0	4	9	9	8	8	9	9	8	7	8	9	88
	人員	0	45	90	82	70	73	83	80	73	63	77	76	812
浅羽南集会場	回数	0	0	0	0	0	0	0	4	5	4	4	4	21
	人員	0	0	0	0	0	0	0	46	50	42	44	46	228
弥太井集会場	回数	0	0	4	5	3	4	5	4	4	0	0	0	29
	人員	0	0	28	40	21	27	36	36	39	0	0	0	227
浅名研修センター	回数	0	0	7	9	8	8	9	5	0	0	0	0	46
	人員	0	0	130	142	138	106	116	56	0	0	0	0	688
豊住公会堂	回数	0	0	3	4	5	4	4	4	4	3	4	4	39
	人員	0	0	49	56	65	65	64	66	66	49	68	67	615
長溝公会堂	回数	1	0	0	4	5	3	4	5	4	4	4	5	39
	人員	25	0	0	98	107	72	96	131	95	103	96	123	946
一色公会堂	回数	0	0	0	0	0	5	3	4	4	4	4	5	29
	人員	0	0	0	0	0	20	13	16	16	20	20	24	129
中公民館	回数	3	0	4	5	3	4	5	4	4	4	4	4	44
	人員	38	0	40	61	33	39	60	47	48	42	39	42	489
富里中公民館	回数	0	0	5	4	4	4	4	3	4	4	3	5	40
	人員	0	0	57	44	38	43	44	29	44	46	36	55	436
下富公会堂	回数	3	2	4	5	3	4	5	4	4	4	4	4	46
	人員	44	30	55	64	43	59	67	58	59	58	54	48	639
西ヶ崎公会堂	回数	3	0	5	4	4	5	4	4	4				33
	人員	15	0	25	20	20	25	20	20	20				165

新堀公会堂	回数	0	0	4	5	4	4	5	4	1	0	2	4	33
	人員	0	0	63	77	64	60	62	55	13	0	25	59	478
梅山公会堂	回数	0	0	3	4	5	3	3	5	2	0	0	0	25
	人員	0	0	42	65	82	44	61	78	34	0	0	0	406
松原研修センター	回数	2	0	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	43
	人員	9	0	50	54	80	64	57	59	58	53	55	54	593
初越公会堂	回数	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	11
	人員	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	124
東同笠公会堂	回数	0	0	3	5	4	5	5	4	4	3	4	5	42
	人員	0	0	44	58	53	58	58	48	41	31	39	57	487
湊西公会堂	回数	0	0	4	5	0	5	4	4	1	0	0	4	27
	人員	0	0			0	36	24	25	8	0	0	22	115
大野研修センター	回数	0	0	5	4	4	5	4	4	5	4	4	5	44
	人員	0	0	58	53	49	62	56	50	74	57	58	56	573
中新田公会堂	回数	0	0	2	0	0	1	2	1	0	0	0	0	6
	人員	0	0	16	0	0	8	17	11	0	0	0	0	52
五十岡公会堂	回数	0	0	0	1	1	2	2	2	2	1	2	2	15
	人員	0	0	0	8	8	13	16	13	13	8	13	15	107
西区公会堂	回数	3	2	4	5	3	4	5	4	2	0	4	4	40
	人員	34	20	52	72	32	53	63	59	35	0	64	59	543
上区公会堂	回数	0	0	0	2	2	4	4	4	3	0	0	0	19
	人員	0	0	0	25	26	61	60	56	42	0	0	0	270
東区公会堂	回数	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0
	人員	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0
下区公会堂	回数	4	3	3	3	3	2	4	3	2	2	1	3	33
	人員	25	22	27	25	20	14	28	19	10	13	5	19	227
笠原老人福祉センター	回数	1	0	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	31
	人員	10	0	42	45	37	38	42	53	53	45	38	15	418
三輪公会堂	回数	4	3	4	5	4	5	4	4	4	4	4	5	50
	人員	51	45	65	75	55	79	57	69	65	62	56	70	749
合計	回数	37	22	106	130	106	128	140	128	102	76	84	110	1169
	人員	341	245	1,271	1,626	1,353	1,539	1,706	1,601	1,188	909	983	1,269	14,031

ひなた 令和2年度 事業報告

総括

コロナ禍という社会そのものの様式が大きく変わってしまった令和2年度。慰問やボランティアの受け入れも制限せざるを得ない状況となり、例年参加していた地域行事も軒並み中止となってしまう、地域密着らしい活動が殆ど出来なかったと言える。そのような中、幸いにも売り上げは好調を維持出来、年間収入は昨年より650万円プラスであった。差し引き収支としては昨年より7万円UPに留まったが、年度途中よりGH職員が前倒しの形で入職していた事を考えれば、プラスで終わった事の意味は大きい。他事業所から声を掛けていただける機会も増え、一時的に利用待機者が出る場面もあった。

これまでのサービスが評価されて来た事と喜ぶ一方、在宅介護サービスの1つとして期待を受けている事への責任も果たして行かなければならない。年度途中には看取り介護も経験し、利用者様の最期に立ち会うケアの大きさも実感した所で有るが、一人暮らしの認知症を患う方のサポート、老々世帯で生活に不安の有る方、将来的な施設入所へ向け少しずつサービスに慣れて行きたい方、求められるサービスも様々である。それぞれに柔軟に対応していける所が小規模最大の特徴ではあるが、対応出来る範囲を広げて行く努力も必要と感じる。

4月からの介護保険制度改正に伴い、感染対策、防災等非常時での業務継続、虐待防止への取り組みなど新たな宿題も出ている。安心・安全に利用していただく事を第一に、目の前のハードルから1歩ずつクリアしていきたい。

- 利用者
- ・開設後の延べ実利用者数は205名(令和2年度新規21名)となった。
 - ・利用者様の平均介護度 年間平均 2.08 昨年度 1.94
 - ・登録定員に対する稼働率は 87.3% (昨年は82.9%)であった。
 - ・短期利用は無かった。生活保護受給利用者様の利用がある。
- 財務
- ・月の売り上げ目標 570万円に対し、月平均は620万円であった。昨年の月平均は565万円であった事を考えると、55万円程増収となった。
 - ・月次売上 最高682万円 最低517万円 8月～3月迄は毎月600万円を超える事が出来た。
 - ・年間の収支としては プラス12万7千円であった。
- 職員
- ・5月～1名、7月～1名 正職員2名が夜勤を行なえない状況となり、勤務状況が苦しい期間も有ったが、GHひなた職員の前倒しの入職も有り、協力し合って業務を行った。
 - ・コロナウイルス対策として出勤前検温、各自体調管理には十分注意し、介護施設職員である事を自覚した行動を呼びかけた。
 - ・3月いっぱいまでパート職員2名が退職となった。
- 事業所
- ・ケアカルテの導入 非常用発電機の設置 電話機の入れ替えとGHと併用する設備工事が目立った。
 - ・9月よりGHの建設工事が本格化し、駐車場が減るなど今後の課題もある。
 - ・感染症対策の補助金をいただき、居室へのTV配線工事やクラスター対策の物品購入などを進めた。
- 地域
- ・運営推進会議を年3回開催した。3回はコロナウイルス感染拡大により中止とした。
 - ・コロナウイルスにより地域行事も軒並み中止となり、地域との関わりが殆どとれない一年であった。
 - ・施設内への入室の制限など、地域の方が事業所を訪れる機会も殆ど無かった。
 - ・訪問やお迎え時など、外部の方と接する際には積極的に挨拶等行うように心掛けた。

ひなた 令和2年4月 ～ 令和3年3月 報告

1 事業所

事業所名 ひなた
 サービス種類 小規模多機能型居宅介護
 (袋井市指定 第2297300036号)
 事業所住所 袋井市浅羽84-7
 利用登録定員 29名 (通い18名/日 宿泊 9名/日)
 介護理念 「ともに笑って ともに歩んで」

2 利用者の状況

(1) 登録利用者

年・月	利用登録人員		支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	平均介護度	延登録実員	
令和2年4月末	+5	23	男	5	0	0	1	2	2	0	2.09	190
	-2		女	18	0	4	3	5	4	2		
5月末	+4	25	男	6	0	2	1	2	1	0	1.86	194
	-2		女	19	1	4	3	5	5	1		
6月末	+1	24	男	5	0	1	1	2	1	0	1.85	195
	-2		女	19	1	4	3	5	6	0		
7月末	+4	26	男	6	0	0	1	3	1	1	2.01	198
	-1		女	20	1	4	4	5	4	2		
8月末	+2	28	男	6	0	0	1	3	1	1	2.13	200
	0		女	22	1	3	4	5	6	2		
9月末	+0	28	男	6	0	0	1	3	1	1	2.19	200
	-0		女	22	1	1	5	7	5	3		
10月末	+0	26	男	6	0	0	1	3	1	1	2.13	200
	-2		女	20	1	1	5	6	5	2		
11月末	0	26	男	6	0	0	1	3	1	1	2.13	200
	0		女	20	1	1	5	6	5	2		
12月末	+1	26	男	6	0	0	1	3	1	1	2.07	201
	-1		女	20	2	1	5	5	5	2		
令和3年1月末	+1	25	男	5	0	0	1	3	0	1	2.22	202
	-2		女	20	1	2	4	5	5	2		
2月末	+2	25	男	6	0	0	1	3	0	2	2.18	204
	-2		女	19	1	2	4	5	5	2		
3月末	+1	26	男	6	0	0	1	3	0	2	2.13	205
	0		女	20	1	2	5	5	5	2		

(2) 利用者平均年齢

R3.3.31

男	71歳～89歳	82.9	82.7
女	76歳～90歳	82.8	

(3)利用者の住所地

R3.3.31

諸井	浅羽	浅名	豊住	浅羽一色	富里	浅岡	中	西ヶ崎
2/17	2/19	1/10	2/6	0/2	1/6	1/7	1/3	0/2
長溝	梅山	松原	太郎助	東同笠	大野	湊	岡崎	山崎
1/2	2/15	0/11	0/2	1/5	0/7	3/11	0/8	1/12
新屋	川井	高尾	横井	田町	下山梨	神長	広岡	栄町
0/1	0/1	1/3	0/1	0/1	0/1	1/2	0/1	0/1
清水町	久能	小川町	睦町	松袋井	青木町	新池	国本	袋井
0/1	0/1	0/1	1/1	0/1	1/1	0/1	0/1	0/1
豊沢	木原	砂本町	泉町	鷺巣	方丈	中新田	西同笠	
0/2	1/1	0/2	1/1	1/1	0/1	0/1	1/2	

(4)利用者の利用開始時世帯状況

R3.3.31

	一人暮らし	老老世帯	同居				
			子	子の子	兄弟姉妹	他親戚	他人等
全利用者	56	23	120	1	2	2	0
現利用者	11	3	12	0	0	0	0

(5)利用解除の直接理由

R3.3.31

	病院入院	療養型入院	特養入所	老健入所	GH入所	その他の施設入所	他在宅サービス	サービス利用なし
本年度	3	0	2	0	0	3	2	0
全 計	93	3	45	9	27	7	12	8

	死亡	転居
本年度	3	0
全 計	16	1

3 サービスの提供状況

年・月	対象 日数	サービス回数			1日平均数			利用者1人あたりのサービス提供数		
		通	泊	訪問	日中人数	夜間人数	月	日	週	
令和2年 4月	610	通	194	363	12.1	5.67	30.71	1.25	8.75	
		通泊	169							
		泊	1	6.8						
		訪問	204							
5月	746	通	244	420	13.55	5.81	31.19	1.15	8.05	
		通泊	176							
		泊	4	6.81						
		訪問	211							
6月	703	通	256	383	12.77	4.23	30.64	1.09	7.63	
		通泊	127							
		泊	0	8.53						
		訪問	256							
7月	788	通	306	432	13.94	4.06	31.04	1.10	7.70	
		通泊	126							
		泊	0	10.03						
		訪問	311							
8月	840	通	321	464	14.97	4.61	34.07	1.14	7.98	
		通泊	143							
		泊	0	11.20						
		訪問	347							
9月	830	通	303	470	15.67	5.57	35.11	1.18	8.26	
		通泊	167							
		泊	0	11.53						
		訪問	346							
10月	835	通	294	485	15.65	6.26	35.32	1.18	8.26	
		通泊	191							
		泊	3	10.0						
		訪問	310							
11月	776	通	245	441	14.7	7.03	34.96	1.17	8.19	
		通泊	196							
		泊	15	8.57						
		訪問	257							
12月	791	通	252	445	14.35	6.81	33.81	1.15	8.05	
		通泊	193							
		泊	18	8.29						
		訪問	257							
令和3年 1月	810	通	253	422	13.61	6.80	33.11	1.06	7.42	
		通泊	169							
		泊	15	8.23						
		訪問	255							
2月	711	通	230	397	14.18	6.54	30.04	1.14	7.98	
		通泊	167							
		泊	16	8.25						
		訪問	231							
3月	799	通	271	435	14.03	5.87	34.50	1.12	7.84	
		通泊	164							
		泊	18	9.03						
		訪問	280							

4 職員の配置状況

職種	基準等	専従	兼務
管理者	・常勤専従、支障なければ兼務可 ・経験、研修修了		(常勤) 1
計画担当	・専従、支障なければ兼務可 ・研修修了	(常勤) 1	(常勤)
介護従事者	・常勤換算法で通いの利用者3人に対し 1人以上、訪問要員常勤換算法で2人以上 ・夜間2人以上、うち1人は宿直勤務可 ・1人以上は常勤 ・1人以上が看護、准看護師	(常勤) 6 (非常勤) 7	(常勤) 1 (非常勤)

*介護福祉士の数 9名 (別紙:介護福祉士の割合50%以上)

本年度の異動					
採用・法人内異動			退職・法人内異動		
	7/1～	法人内異動		3/1～	法人内異動(GH)
	1/11～	法人内異動		3/1～	法人内異動(GH)
	1/11～	新規採用		3/1～	法人内異動(GH)
	1/18～	新規採用		3/1～	法人内異動(GH)
	2/1～	新規採用		3/1～	法人内異動(GH)
	2/1～	新規採用		3/1～	法人内異動(GH)
				3月31日	退職

5 サービスの内容(利用者の介護)

通い	利用者の身体介護(入浴、食事、おやつ、排泄、口腔清拭、静養、整容など) 余暇指導(散歩、ドライブ、ゲーム、体操、歌唱、手芸、ドリルなど) 受診介助 バイタル測定 希望時間での送迎 季節行事 個別リハビリ 行動見守り
訪問	利用者宅での室内・トイレ清掃、服薬等の確認、食事づくり、買い物、バイタル測定 受診の介助 通い準備 排泄等の介助 洗濯物整理等 着替え・整容介助 薬のセット 自宅周辺の散歩
泊まり	夜間の身体介護 行動の見守り

6 行事および地域との関係

(1) 行事および地域交流

月	日	ひなた行事	日	地域との交流・ふれあい
4	初旬 15	桜お花見(送迎時車内より) ここみ理容		宝寿 運営推進会議 中止
5	5 11 14	菖蒲湯 ここみ理容 "		運営推進会議 中止
6	17	ここみ理容		宝寿 運営推進会議 中止
7	7 19	七夕飾り 誕生会	18	運営推進会議
8	17 20	ここみ理容 "		宝寿 運営推進会議 中止
9	7 8	ここみ理容 "	初旬 19	グループホーム工事開始 運営推進会議 傾聴ボランティア
10	9 10 12 14 26	ここみ理容 台風14号 早めの帰宅 ここみ理容 " コスモス見学(車内より)	1	グループホーム見学 宝寿 運営推進会議 中止

	14	ここみ理容	21	運営推進会議
--	----	-------	----	--------

11				
12	7 14 19 24	ここみ理容 〃 〃 クリスマス会		宝寿 運営推進会議 中止
1	1~3 初旬 14	正月レク 初詣ドライブ 車内より ここみ理容	18	運営推進委員会
2	17 20	ここみ理容 〃		宝寿 運営推進会議 中止
3	11 30 31	ここみ理容 桜お花見ドライブ(車内) 〃		運営推進会議(中止)

(2) ボランティア、面会等の受け入れ交流

利用者ご家族の面会、利用者知人の面会、慰問活動の受け入れ(ご家族、慰問団体、個人)
袋井市介護支援ボランティア、芝刈りボランティア、花苗植え替えボランティア

(3) 運営推進会議の開催

回	通算	開催日	参加人数	内容
1	55.56	令和2年7月18日	8	ひなたの状況報告・意見交換
2	57	令和2年9月19日	7	〃
3	58	令和2年11月21日	6	〃
4	59	令和3年1月18日	6	〃
5				
6				

*グループホーム宝寿さんの推進会議年間中止。

7 防災

月1度の防災点検、防災意識を高めるための防災訓練は年2回実施。
訓練のほかに設備・備品を整える必要が大きい。

- * 防災設備点検: 業者による防災設備の点検
- * 防災点検: 事業所での自主点検(月1回)
- * 防災訓練: 事業所での防災訓練・避難訓練(年2回) 令和2年7月5日 令和2年11月5日

8 事例・事故報告・苦情対応

事例報告書 62件:

転倒 18 転落 不履行 内服不十分 12 私物・持ち物 ずり落ち 業務不注意 5
 業務確認・点検不足 3 運転事故 1 介護中外傷発生 8 個人情報 1
 利用者の認知症行動 6 エスケープ 利用者間トラブル1 破損・故障 2 備品紛失
 食形態間違え 送迎忘れ・間違え 2 個人備品紛失・破損 3

苦情対応	0件:	事故報告	0件:
ヒヤリ・ハット	105件:	ニコリ・ホット	43件:

9 身体拘束廃止

静岡県に「身体拘束ゼロ宣言」を届け出ている(平成24年6月)、その後「再宣言」の指導があり、平成28年8月に再宣言している。
 現在は拘束の事例は無し。

10 事業所内の清潔保持

毎日の清掃、消毒を心掛けて事業所内、対象物の取り扱いに清潔保持に努めている。
 利用者において感染症の発生はなかった。
 職員の検便(4回/年)、浴槽水の水質検査を(1回/年)を行なっている。

11 自己評価・外部評価

事業所の自己評価に全職員で取り組み、運営推進会議で報告・意見をいただき公表に結びつける。
 利用者のご家族から「利用後のアンケート」に答えてもらっている。

12 事業所整備

トイレ・キッチン・廊下洗面台 給湯工事 冷凍庫購入 食事スチーマー購入
 網戸交換工事

13 内部研修・研修の機会

内部研修:	水害についての防災研修	新型コロナ対応
	レク研修	接客研修
		食事提供方法

外部研修:	新型コロナクラスター防止研修	アンガーマネジメント研修
	認知症実践者研修	

14 介護保険・報酬 (保険給付外のサービスについての単価は変動なし)

平成27年4月の改定に伴った算定を行なっている。
 令和元年10月より 特別処遇改善加算が追加となった

- ・サービス提供体制加算 I イ
- ・総合ケアマネジメント加算
- ・訪問体制強化加算
- ・認知症加算、初期加算
- ・処遇改善加算 I (所定単位に10.12%を乗じた単位数)
- ・特別処遇改善加算(所定単位に1.5%を乗じた単位数)
- ・地区別単価(1単位10.17円) を算定している。

令和2年度 ルンビニ保育園 実績報告書

1. 所在地 静岡県袋井市諸井1056番地の2

2. 各月初日現在年齢別措置児童数 (定員 90名)

年齢 / 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
0 歳 児	4	5	5	6	7	7	7	7	7	7	6	6	74
1 歳 児	15	16	16	16	16	16	16	16	16	17	17	17	194
2 歳 児	16	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
3 歳 児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
4 歳 児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
5 歳 児	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	228
合 計	89	92	92	93	94	94	94	94	94	95	94	94	1,120

各月初日平均年齢別措置児童数 94人 対定員充足率 104%

3. 保育内容

保育目標でもある「健やかな心を育てる」ため、年間を4期に分けて年齢別に年間の保育計画を園長と主任保育士が協議して定め、月間計画、週案は年間保育計画に基づいて各担任保育士が定め、計画に従って日々の保育を実践したが特に次のことに重点を置いた。

* 自然観察・・・自然に対するやさしい心を養い、成長の過程を理解させる為に、朝顔の種まき、夏野菜の栽培、チューリップの球根植えをし、一人一鉢育てた。

花の咲く様子を観察したり、色水あそびをして楽しむ事ができた。プランターでの夏野菜の栽培も行なった。又、園外散歩では道端の草花やそこに住む虫を見つけ、季節の移り変わりを感じられるように活動した。

* お年寄りとの交流・・・コロナのため「紫雲の園」の誕生会慰問はできなかった。

5歳児が手作りのカードを誕生会にプレゼントしている。

* 鼓隊活動・・・幼児期において正しいリズム感を養う為、4、5歳児で鼓隊を編成して日常の保育活動に取り入れ互いに協力・連帯する心を養うようにした。9月の運動会では成長した子ども達の姿を見る事ができた。

- * 体育指導・・・幼児期におけるバランスのとれた体力の向上と敏捷性を養うため体育指導を実施した。年間計画のもとに、マット、跳び箱、鉄棒、水泳、なわとび、サッカー、ドッチボール等に挑戦。
- * 茶道指導・・・日本古来の伝統を知り体験する為、茶道指導を実施した。
4歳、5歳と2年間の成果が出て、3月の最後の指導では立派なお茶会となった。
- * 英語で遊ぼう・・・月、1回英単語で遊ぶ時間を作った。簡単なあいさつや歌遊び、色や物の名前の絵カードを使ってゲーム遊びを通して英語に親しんだ。
- * 園外散歩・・・車社会の現代にあって、歩く力を付けること、町内を知ること、交通ルールを身に付ける事を目的として、各年齢に応じた距離で山登り、公園、神社巡りを計画し、実行した。今年も里山公園に度々行き、園児達の定着した遊び場として利用させて頂いた。
- * 食育・・・一年間を通して「4つのおさら」のランチョンマットを使用して身体への働きを知るきっかけを作る。食前には「食前のことば」を唱和し、「感謝のころ」を育んでいった。
月曜の朝礼時に「心育て」と共に「食育」関連の紙芝居を取り入れて指導した。
また、5歳児はとうもろこしやゆで卵の皮むき体験や、野菜を使ったクッキングを楽しんだ。

(1) 保育時間

通常保育	8時30分～16時30分
延長保育	7時00分～19時00分
土曜保育	7時30分～17時30分

上記を保育時間としたが、保護者の勤務の都合等から更に長時間の保育を要する者も有り、その場合は、遅番保育士が対応した。

(2) 行 事

児童にとってより楽しい園生活とし、又保護者の参加を求めることにより保育の内容を理解してもらう場とするため、計画に基づいて次の行事を実施した。

4 月	*入園式・進級式 釈尊花まつり ・こどもの日の祝い
5 月	*春の遠足、保護者の会総会 ・検尿検査 →お話しマラソン ・ようこそ図書館へ ・朝顔の種まき、野菜の苗植え ・不審者対応避難訓練
6 月	・磐田カルチャープール(ニヨニヨ水泳教室) ・水遊び ・歯科検診 ・交通安全教室 →花火教室 ・春期健康診断 *保育参加
7 月	・納涼祭 ・七夕まつり、スイカ割り、流しそうめん ・園外保育(年長)
8 月	・お泊り保育
9 月	*総合防災訓練 ・お月見会 →敬老会(年長) ・避難訓練(洪水) ・茶ピアどんぐり拾い
10月	*運動会 ・おつきみ会 ・秋期健康診断 ・チューリップの球根植え →*秋の遠足 *保育参加 ・園外保育(以上児)
11月	・七・五・三の祝い *おゆうぎ会
12月	・釈尊成道会 ・おもちつき ・クリスマス会 ・ようこそ図書館へ ・不審者対応避難訓練
1 月	→新年おしるこ会 *雪見遠足 →北公民館豆まき会
2 月	*作品展 ・豆まき会 ・涅槃会 ・入園説明会 ・遠足(年長) →テーブルマナー食事会(年長) *0、1歳児親子ふれあいの会
3 月	・ひなまつり ・お茶会 ・お別れ会 ・修了式 *保育証書授与式

◎ *印 = 親子参加行事

◎ 毎月・・・避難訓練、身体測定、紫雲の園誕生会慰問(以上児)・・・プレゼントのみ
月2回・・・体育指導(5、4、3、歳児)
月1回・・・英語指導(5、4歳児) 茶道指導(5、4歳児 11月より)

(3) 日 課

日課は年間を四期に分け年齢別に発達段階に応じて園長と保育士が協議して定めたが、次のものを基本とした。

7:00	登園	10:30	課題保育	14:00	
7:30		11:00	給食準備	14:30	
8:00	自由遊び	11:30	給食	15:00	午睡片付け おやつ
8:30		12:00		15:30	帰りの会
9:00	戸外活動	12:30	給食片付け 午睡準備	16:00	自由遊び
9:30	朝の会	13:00	午睡	16:30	降園
10:00	3才未満児 おやつ	13:30		19:00	

(4) 給食

育ち盛りの幼児にとって必要な栄養量を摂取させることは大切な事であるから、献立の作成にあたってはその点に十分留意しながら栄養のバランスを考慮し、朝・夕との関連もあるので献立表の家庭への配布や必要に応じて栄養指導を実施した。又、食物アレルギーの体質の園児に対しては、医師の診断書を提出してもらい、除去食、代替食に努めた。

楽しく食事ができるように味付け、彩り等を工夫し、正しく食事する事は生活習慣の重要な部分を占め、園の目標である「感謝の心」を育てるよい機会であるから、食事をいただけることに感謝しながら正しく食事する態度を身につけさせるよう努めた。

保育園給食で人気のあった献立レシピを玄関に常備、自由に持ち帰るようにし、活用されている。又、食事年間指導計画作って、夏野菜（トマト、ピーマン、きゅうり、なす 等）の栽培、収穫をして給食室やクラスで調理して食べた。

調理員は給食管理研修会、県保育士会主催研修会に参加し研修した。

* 年4回、各1週間づつ、歳児別嗜好調査を実施。こども達の嗜好を園全体の職員で把握するよう努めた。

《 一日当たり平均栄養価摂取量 》 令和2年度

	3 歳 未 満 児		3 歳 以 上 児	
	熱 量	蛋 白	熱 量	蛋 白
基 準	4 6 7 kcal	1 7 . 5 g	5 7 2 kcal	2 1 . 4 g
摂 取 量	5 0 8 kcal	1 9 . 7 g	5 8 5 kcal	2 1 . 6 g

《 一日当たり平均給食費 》 令和2年度

3歳未満児	247円	3歳以上児	273円
-------	------	-------	------

(5) 健康管理

袋井市諸井所在の岩本医師を嘱託医とし、定められた入所時健康診断 前期・後期健康診断を実施し、又、まきの歯科クリニックによる歯科検診を年1回行った。その他、例年同様尿検査を実施した。身長、体重の測定は毎月実施し、成長の記録とすると共に指導上の資料とした。

乳歯から永久歯に変わる3歳児から6歳児のフッ素洗口を毎日実施している。

* 前期健康診断	6月24日	* 後期健康診断	10月 9日
* 歯科検診	6月18日		
* 尿検査	5月27日	異常者	なし

(6) 非常災害対策

- ~~*交通安全指導(指導員) 6月2日~~ ~~*普通救命講習会~~
- ~~*防火指導(消防署署員) 6月26日~~ ~~12月19日、1月6日~~

災害発生時の被害ゼロを目指し毎月一回火災・地震等想定して防災訓練を実施し特に9月1日には総合防災訓練を実施し、保護者の参加協力を依頼した。

年二回、洪水を想定した避難訓練を行った。

又、園内事故を防止する為に毎朝職員が遊具の点検を行い、遊具の特に注意する箇所に負荷をかけたり、電気及びガス等の危険物設備は毎月一回安全点検表により点検を行う。消防設備については業者に委託して点検を実施した。

予想される東海沖地震に対応して園内のすべての家具等の転倒防止対策をしている。

非常時用備蓄食品の在庫ノートと3日間分の食事の献立の作成。

(7) 保育担当者

各年齢別にクラスを編成し、それぞれに担任保育士を定めて保育を行なう。

* 3月末保育園児数と保育士

歳 児 別	ク ラ ス	園 児 数	保 育 士 数
0 歳 児	ひよこ組	6 名	3 名
1 歳 児	りす組	17名	3 名
2 歳 児	うさぎ組	17名	3 名
3 歳 児	きりん組	17名	2 名
4 歳 児	ぱんだ組	18名	2 名
5 歳 児	ぞう組	19名	2 名
給食室	調理師		2 名
	栄養士		2 名
以上児、未満児クラス	副主任		2 名
事務室	園長・主任		2 名
計		94名	23名

4. 中学生の職業体験、高校生のインターンシップ、単位実習及び自主実習で 46名の受け入れをした。

* 10/23	袋井中学校 2年	5名
* 10/28	ふれあい交流学習（よみきかせ体験）・浅羽中学校2年	34名
* 11/10、11	職場見学、インタビュー ・遠江総合高等学校	2名
* 11/16	保育実習・東海こども専門学校1年	1名
* 1/18～1/30	保育実習・東海こども専門学校1年	1名
		計 43名

5. その他

(1) 職員研修

県社協、県保育士会、県保連、保安協、が主催した研修会には積極的に参加し研修会参加者は参加報告書を提出すると共に、職員会議の場で伝達研修を行なった。

令和2年度はコロナの関係でリモートでの研修が多かった。

職員1名がいわた保育士会「新たな時代の保育実践部会」に参加し、保護者と子どものかかわりを勉強した。

市主催の「子どもの支援研修会」「子どもの健康と食を考える会」の研修に年間通して参加した。

(2) 職員会議

保育計画、行事の検討と連絡調整、問題事項の検討を行う他、園内研修の場として事例研究、園外研修の伝達研修を行なった。

(3) 保護者との連携及び連絡

乳児の健全な育成のためには、家族との連携は欠くことが出来ない。保護者との連携を密にし、日常の連絡には担任保育士と家庭との間に連絡ノートを作って園での子どもの様子や問題点を連絡し、家庭での様子や園に対する要望を聞くようにつとめた。

大きな行事は土曜日、日曜日に計画して参加協力してもらい、保育内容を理解してもらおう努めた。

園の様子や、行事での子どもの姿を保護者に知らせるため、写真入りのおたよりを作成した。

(4) 実習生の受け入れ

実習生の受け入れを行なった。年間1名の実習生の受け入れを行なった。

卒業後に保育士として役立つ人材となるよう指導。

1, 所在地 静岡県袋井市浅羽1248番地

2, 各月初日現在年齢別措置児童数 (定員 90人)

年齢/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
0歳児	7	9	9	9	9	8	9	9	9	9	9	9	105
1歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
2歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
3歳児	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	264
4歳児	22	21	21	21	22	22	22	22	22	22	22	22	261
5歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
合計	105	106	106	106	107	106	107	107	107	107	107	107	1278

各月初日平均措置児童数 107人

対定員充足率 118%

3, 保育内容

「健やかな心と身体」を育てるために、お釈迦様の教え「仏教」を基本理念として保育し、
【生命尊重】【修繕】【協調】を三本柱とし、『感謝』の心を育てます。

- 自然観察
 - ・植物を育て生長の過程を知ったり、開花する喜びを感じられるよう、春は朝顔、ひまわりの種、秋はチューリップの球根植えを一人一鉢育てた。生長の過程で鳥につつかれたり枯れてしまう経験もし、植物を育てる大変さを知ることができた。
- 老人との交流
 - ・月に一度のデイサービス誕生会への慰問はできなかったが、プレゼントを制作し、届けることができた。
 - ・おじいちゃん、おばあちゃんと遊ぼう会は、コロナ禍のため中止し、子どもたちがハガキを制作し送ることができ、とても好評だった。
- 食育
 - ・各クラスの食育計画に基づき、夏野菜の栽培、収穫、クッキングを行った。キュウリ、かぼちゃ、ピーマン、ナス、オクラなどたくさん収穫でき、ピザやかぼちゃホットケーキ、夏野菜カレーなど、楽しむことができた。
 - ・年末のもちつき会は保護者の参加は取りやめ、保育者と子どもで行ったが、給食でのお餅の提供はせず、持ち帰りとした。
- 運動あそび
 - ・今年度より外部講師による指導を導入した。年間計画をもとに、鉄棒、縄跳び、プール等、楽しみながら運動能力の向上を目指し、取り組んだ。5歳児の半数の子が就学前に逆上がりができるようになった。
- 鼓隊指導
 - ・外部講師が代わったが、子どもたちは楽しく取りんでいる。練習では、仲間と助け合う心や、達成感を味わい、運動会では立派に発表することができた。
 - ・音楽会は年齢ごと開催日を替え、開催することができた。4, 5歳は色々な楽器を使い、合奏を披露した。音楽会の様子をホームページで動画配信し、参観できなかった祖父母に好評だった。
- 茶道
 - ・日本古来の伝統を知り、『静』の中で集中力を高めるために、4, 5歳児が行った。毎年行っている保護者を招待してのお茶会は中止し、5歳児が4歳児を招く形式でお茶会を実施した。
- 英語指導
 - ・外部講師による月一回のレッスンでは、挨拶や天気、気分、物の名前など日常生活する単語や会話を、カードやゲームで楽しく学んでいる。子どもたち同士の会話か

らも英語での会話が聞こえてくるようになった。

- 保育時間
 - ・短時間保育 8：30～16：30
 - ・標準時間保育 7：00～18：00
 - ・延長保育 7：00～19：00
 - ・土曜保育 7：00～18：00

4, 行 事

子どもにとってより楽しい園生活とし、又、保護者の参加を求めることにより保育の内容を理解し、共に子育てを楽しんでもらえる場とするため、計画に基づいて次の行事を実施した。

4月	・花まつり
5月	*3歳児保護者栄養講座 ・花種まき
6月	*保護者保育参加 ・不審者対応訓練 ・交通安全教室 ・前期健康診断 ・プールそうじ ・歯科講座 (3～5歳児) ・歯科検診 ・泥んこあそび
7月	・水遊び ・プール遊び ・納涼祭 ・視力聴力検査 (5歳児)
8月	・七夕まつり (スイカ割り、流しそうめん) ・水遊び ・プール遊び
9月	・総合防災訓練 (*引き渡し訓練) *運動会 (2～5歳児) ・お月見会
10月	・不審者対応訓練 ・ACP ・後期健康診断 ・チューリップ球根植え *秋の遠足 (5歳児) ・芋ほり遠足 (4, 5歳児) ・浅中生交流授業 ・ようこそ図書館 (4歳児)
11月	・総合防災訓練 ・七五三のお祝い *大掃除 ・浅北小1年生と交流授業 *お遊戯会 ・ようこそ図書館 (5歳児)
12月	・みかん狩り (1～5歳児) ・成道会 ・もちつき会 ・クリスマス会 ・ジュビロサッカー教室 (5歳児)
1月	・お茶会 *小さな音楽会 (3～5歳児)
2月	・豆まき会 *入園説明会 *ミニ作品展 (自由観覧) ・涅槃会
3月	・ひな祭り *大掃除 ・修了式 (2～4歳児) *卒園式 ・お別れ遠足 ・お別れ会

◎ *印・・・保護者参加行事

◎ 毎月・・・誕生会、避難訓練、音楽指導 (月2回)、運動遊び (月2回)
英語教室 (月1回)、茶道 (月1回)

5, 日 課

日課は年間を通して、年齢別に発達段階に応じて園長、主任、保育士が協議して定め、次のものを基本とした。

7:00	----- 随時登園	10:30	----- 課題保育	14:00	-----
7:30		11:00	----- 給食準備	14:30	
8:00	----- 自由遊び	11:30	----- 給食	15:00	----- 午睡片付け おやつ
8:30		12:00		15:30	----- 帰りの会
9:00	----- 朝の体操 戸外活動	12:30	----- 給食片付け 午睡準備	16:00	----- 自由遊び
9:30	----- 朝の会	13:00	----- 午睡・休息	16:30	----- 降 園
10:00	----- 3歳未満児 おやつ	13:30		19:00	

6, 給食

栄養士が食育年間計画をたて、各クラスの保育士と連携をとりながら野菜の栽培をした。感染症に配慮しながらクッキングを体験し、収穫のうれしさや、野菜の大切さを感じ、何でも食べよとする意欲が持てるよう、食育指導をした。

保護者には食に関するアンケートを行い、保護者の要望や課題をとらえ、離乳食・幼児食の展示、給食だより・食育だよりの発行、保育参加時における給食参観、試食等を実施した。

毎月の給食会議では、メニューの検討や子どもの個別対応など、情報交換を密に行った。特に食物アレルギー体質の子どもは、全職員が把握するよう、配膳室に掲示し、職員同士での確認を充分に行った。

本来は「楽しい給食」であるべきですが、令和2年度より、感染症対策として1クラスごと遊戯室で食事し、全員一方向を向き、極力会話をしない食事をとった。

《一日当たりの平均栄養摂取量》 令和2年度

	3歳未満児		3歳以上児	
	熱量	蛋白質	熱量	蛋白質
目標量	485 kcal	19.4 g	577 kcal	23.1 g
摂取量	523 kcal	21.7 g	590 kcal	23.5 g

《一日当たりの平均給食費》 令和2年度

3歳未満児	230円	3歳以上児	251円
-------	------	-------	------

7, 健康管理

袋井市諸井所在の岩本医師を嘱託医とし、定められた前期健康診断、後期健康診断を実施し、又、まきの歯科クリニックによる歯科検診を年1回行った。その他、例年の通り、尿検査を実施したが、例年行っていたぎょう中検査は、令和2年度より取り止めた。身長体重測定は毎月実地し、成長の記録とするとともに、低身長の指導上の資料としている。

- ・前期健康診断 6月10日
- ・尿検査 5月27日 (再検査1名)
- ・歯科検診 6月25日 (虫歯のある子 11人)
- ・後期健康診断 10月14日

○ 感染症

新型コロナウイルス感染症の流行もあり、園では保護者を含め、手洗い、手指消毒、マスクの着用を強く呼びかけた。例年は37.5℃以上の発熱で登園を控えてもらっていたが、令和2年度からは、37℃以上、風邪症状のある場合は登園を控えてもらった。4月14日～5月16日は、市からの要請で休園となったが、40%の園児は登園していた。

子どもも保護者も感染症予防の意識が高まったせいも、感染症の流行はほぼ起きなかった。

《一年間の感染症の動向》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
突発性発疹	1	1	1	1	1		3			2			10
咽頭結膜熱(プール熱)				1			1			1			3
伝染性膿痂疹(とびひ)				1	1	2		1					5
流行性耳下腺炎(おたふく)					1								1
溶連菌感染症				1									1
ウイルス性上気道炎								1					1
手足口病												1	1
感染性胃腸炎												1	1
合計	1	1	1	4	3	2	4	2	0	3	0	2	23

8, ヒヤリ・ハッと報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
子どもの危険行為	2	1	2	1		1	1	1	3		1	1	14
環境不備	1			1				1				1	4
保育者の対応	3			2	1	1	2	3	1		4		17
保護者の対応							2						2
給食室の不注意							2	2			1		5
その他							1	1					2
合 計	6	1	2	4	1	2	8	8	4	0	6	2	44

○ 主な内容

- ・職員休憩室に子どもが入室し、茶道の道具などを触っていた。
- ・泥あそび場の木の枠でトゲが刺さった。
- ・おたより帳に他の子の内容を書いてしまった。
- ・戸締り忘れ。
- ・薬の投薬忘れ。
- ・子ども（乳児）が一人で園庭に出ていた。
- ・子どもが門から駐車場に出ていた。
- ・アレルギーの子に対応食でないおかわりを与えてしまった。
- ・給食に異物が混入していた。
- ・園の玩具ではない小さな玩具が落ちていた。
- ・散歩先に、子どもの水筒を置き忘れてしまった。
- ・自分の眼鏡の部品が外れ、それを口に入れていた。
- ・保育室内に縫い針が落ちていた。
- ・お薬連絡票、おたより帳、汚れ物袋を別の子に返してしまった。
- ・散歩先で子どものボールが側溝に落ち、流されてしまった。
- ・子どもが粘土を耳に入れようとしていた。
- ・錆びた刃の工具が園庭の地面から出てきた。
- ・午睡中、子どもが自分の布団カバーの中に入り、ファスナーを閉めていた。

9, 事故報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
園内処置	7	4	14	8	4	9	12	7	7	11	12	7	102
岩本外科	1				1	1							3
まきの歯科													0
その他の病院			1					1					2
保護者が受診						1						1	2
合 計	8	4	15	8	5	11	12	8	7	11	12	8	109

○ 事故の内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
噛まれ傷	3	2	4	4	1	1	2	4	1	5	1		28
擦り傷			3		2		2	2	2	2	5		18
ひっかき傷	1		1			1	1				1		5
切り傷	2		1		1	2	2	1	1			3	13
打撲	1	2	3	3		6	5		2	3	5	4	34
脱臼					1	1		1				1	4
その他	1		3	1					1	1			7
合 計	8	4	15	8	5	11	12	8	7	11	12	8	109

○ 事故による受診状況

- ・園庭で蜂に刺され、岩本外科受診。(5歳児)
- ・自分で耳に粘土を詰め、新木耳鼻咽喉科受診。(4歳児)
- ・保育士が腕を掴み、脱臼し岩本外科受診。(2歳児)
- ・昼寝中、寝返りをうって脱臼し、保護者が山本接骨院受診。(2歳児)
- ・他児に尖った玩具で頭を叩かれ出血し、岩本外科受診。(2歳児)
- ・午睡中、寝付けず布団の上で寝転がっていて脱臼し、まるおか鍼灸接骨院受診。(4歳児)
- ・保育士が腕を掴み脱臼し、保護者が山本接骨院を受診。(2歳児)

10, 苦情・要望解決

0件

11, 実習生受け入れ、中学生との交流など

- ・ 8/31～9/15 浜松学院大学短期大学部2年生 1名
- ・ 10/19～10/30 浜松情報専門学校2年生 1名
- ・ 10/28 浅羽中学校2年生 交流会 35名
- ・ 11/30～12/11 東海こども専門学校2年生 1名
- ・ 2/1～2/17 浜松学院大学短期大学部1年生 1名

12, 非常災害対策

- ・ 月一回 避難訓練(地震・火災・洪水・津波訓練)
- ・ 9/1 総合防災訓練(浅羽北小避難・引き渡し訓練)
- ・ 11/2 社会福祉施設防災訓練
- ・ 不審者対応訓練(6月、10月)

13, 保育担当者

各年齢別にクラスを編成し、それぞれに担任保育士を定めて保育を行う。

*3月末保育園児数と保育士

歳児別	クラス名	園児数	職員数
0歳児	つくし	9名	3名
1歳児	ちゅーりっぷ	18名	4名
2歳児	れんげ	18名	3名
3歳児	すみれ	22名	2名
4歳児	ひまわり	22名	2名
5歳児	さくら	18名	1名
一時保育			1名
支援センター	すくすく		2名
給食室	栄養士		1名
	調理師		2名
用務			1名
職員室	園長、主任		2名
	副主任		2名
産休・育休			2名
合計		107名	28名

14, 研修会参加状況

月日	項目	対象職員	実施内容
7・7	いわた保育士会部会発会式	一般保育士	年間計画作成、顔合わせ
7.27	リーダーセミナー（オンライン）	一般保育士	「これから求められる子どもの育ちと保育者の役割」
7	熱中症対策アドバイザー講習（オンライン）	園長	熱中症の理解
8・1	保育部門歳児別部会	一般保育士 副主任保育士	0歳児、5歳児、給食部会
8・3	就学前教育推進会議	一般保育士	幼小中一貫教育の理解・推進について
8・20	障害児保育（キャリアアップ）	一般保育士	障害児保育の指導計画・記録及び評価
9. 1～3	幼児教育（キャリアアップ）	一般保育士	幼児教育の理解
9・10	園長研修（オンライン）	園長	保育所における自己評価ガイドライン
9・30	リーダーセミナー（オンライン）	一般保育士	「保育・教育の質を守り、職員の心と仕事を守る」
10・16	ベネッセウェブ講座（オンライン）	主任保育士	「現場と作る子ども主体の保育セミナー」
10・20～22	乳児保育（キャリアアップ）	一般保育士	乳児保育の理解
10・28～30	保護者支援・子育て支援（キャリアアップ）	一般保育士	保護者支援、子育て支援の理解
11・4	浅羽学園合同研修会	副主任保育士	分科会・全体会・講話
11・6	主任保育士・主幹保育教諭研修会（オンライン）	主任保育士	「子ども・家庭における主任保育士・主幹保育教諭の役割」
11・9	特別支援コーディネーター会議	主任保育士 副主任保育士	「インクルーシブ教育と発達障害の理解」
11・13	就学前教育推進会議	一般保育士	市の一貫教育について、B票の活用について
11・13	保育所における保育の質の確保セミナー（オンライン）	一般保育士	保育の質の捉え方、向上の取り組み
11・17	施設長研修会（オンライン）	園長	「いま求められる保育の専門性」
11・19	袋井市子ども支援研修会（オンライン）	一般保育士	LDのある子どもへの支援・指導について
11・20	保育所保育指針実践セミナー（オンライン）	一般保育士	指針の解説、指針を実践に活かす
11・25	県保育士会職員研修（オンライン）	一般保育士	「配慮を必要とする子のいる保育」
11・26	保育所における感染症対策セミナー（オンライン）	一般保育士	飛沫感染対策、接触感染対策
12・3			新型コロナ感染症、イベント行事の検討
12・10			保育所における具体的な感染症対策
12・1～3	マネジメント（キャリアアップ）	一般保育士	マネジメントの理解
12・5	保育部門歳児別部会	一般保育士 副主任保育士	0歳児、5歳児、給食部会
12・9	虐待防止への取り組み推進研修（オンライン）	副主任保育士	子どもや保護者からのサインを見逃さない保育士になるために
12・16	子ども未来マイスター研修	支援センター職員	相談援助技術、対人援助
12・17			気になる親子の支援
1・8			児童虐待への気付きと対応
1・14	給食関係者研修会	栄養士	食塩摂取量の現状と減塩への取り組み状況
1・22	保育所等における事故防止セミナー（オンライン）	一般保育士	安全管理と保育実践
1・29			事故事例から学ぶ事故防止
2・5			事故防止の実践事例
1・29	袋井市子ども支援研修会（オンライン）	一般保育士	子どもの多様な特性に配慮した支援
2・4	県保育士会職員研修（オンライン）	一般保育士	保育内容の一環としての食育
2・4	袋井市子どもの健康と食を考える会	副主任保育士	命をつなぐ食育～教育実践から考える

令和2年度 一時預かり保育事業実績報告書

ルンビニ第二保育園

【現状】

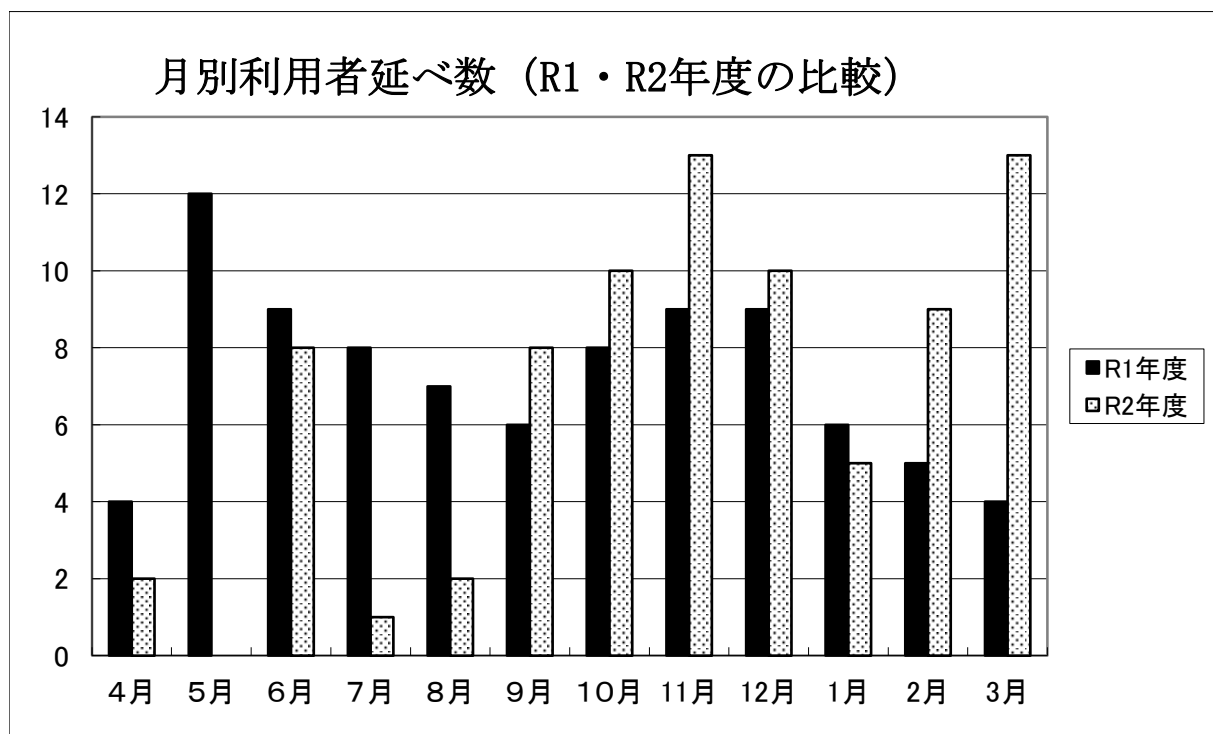
- ・新型コロナウイルス感染症予防対策として利用を一時停止していた時もあったが、6月以降は停止することなく受け入れすることができた。
- ・利用者の家庭環境などを聞き、行政と連携するなどして利用者のニーズにあった対応ができた。
- ・下半期は新規登録者が多く、利用にもつながっていった。
コロナ禍で公共施設など子どもは連れて来ないで欲しいという施設が増え、「一緒に連れていけないので」というような利用理由が増えたように感じた。
- ・就労で予約を10日前後入れた方が様々な状況の変化により全てキャンセルするということがあった。

【今後の取り組み】

- ・コロナ禍ということで今まで以上に利用する保護者の方の戸惑いを感じるので、安心して預けてもらえるよう保育園での子どもの様子を詳しく丁寧に伝えたり、感染対策について知らせたりしていく。
- ・支援センター（すくすく）の利用者から一時保育の利用に繋がっていくことも多いので、支援センターの職員と連携しながら利用を促していきたい。
- ・来年度もルンビニ第二しんぶんを引き続き配布していき、地域に一時預かりを周知してもらおうと共に、保育園での取り組みを伝えていきたい。
（地域・浅羽北幼稚園・浅羽北小学校・浅羽中学校）
また、市役所や各支援センターに一時預かり保育の案内を置かせてもらい、他の地域の方に周知してもらえるようにしていく。

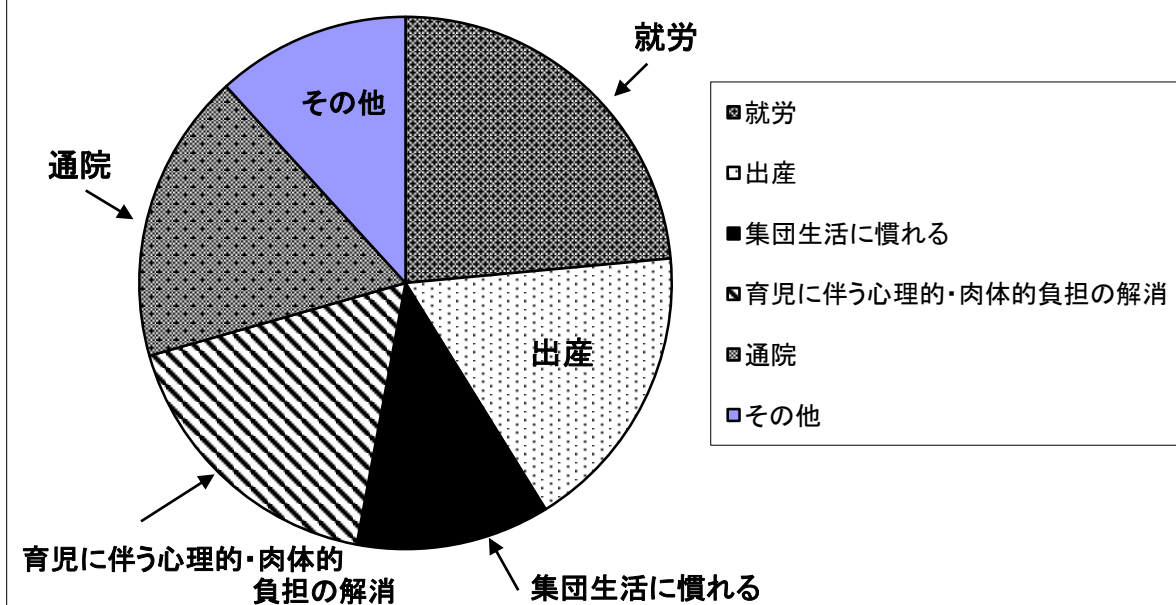
一、月別利用者数（令和元年度との比較）

月	登録数		利用者数		利用者延べ数		利用金額	
	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度
4月	0	0	3	1	4	2	8,700	6,300
5月	1	1	5	0	12	0	27,900	0
6月	0	0	4	1	9	8	22,500	21,300
7月	0	2	3	1	8	1	20,100	2,100
8月	0	1	2	1	7	2	17,400	5,400
9月	0	3	2	1	6	8	14,400	23,100
10月	0	0	2	1	8	10	20,400	30,300
11月	0	2	2	1	9	13	24,300	38,100
12月	1	2	3	2	9	10	21,600	28,800
1月	0	3	2	3	6	5	15,300	10,500
2月	0	1	2	4	5	9	12,300	18,900
3月	3	2	1	6	4	13	9,300	27,600
合計	5	17	31	22	87	81	214,200	212,400



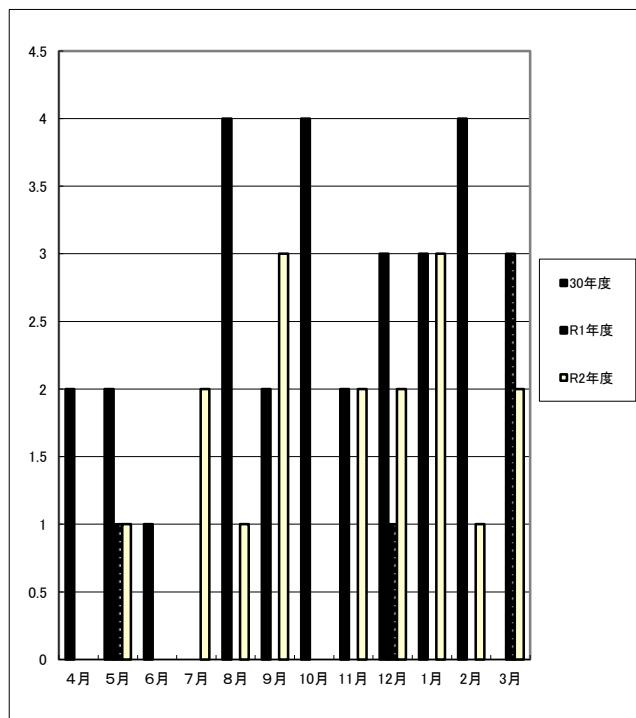
- ・今年度は、一年を通して利用者は少なかったが、固定利用者がいたので9月～12月、2月～3月の利用数は延びた。
- ・4月,5月は新型コロナウイルスの感染拡大予防として利用を一時停止した。

一時預かり登録理由



登録数：平成30年・令和元年・2年度の比較

	30年度	R1年度	R2年度
4月	2	0	0
5月	2	1	1
6月	1	0	0
7月	0	0	2
8月	4	0	1
9月	2	0	3
10月	4	0	0
11月	2	0	2
12月	3	1	2
1月	3	0	3
2月	4	0	1
3月	0	3	2
合計	23	5	17

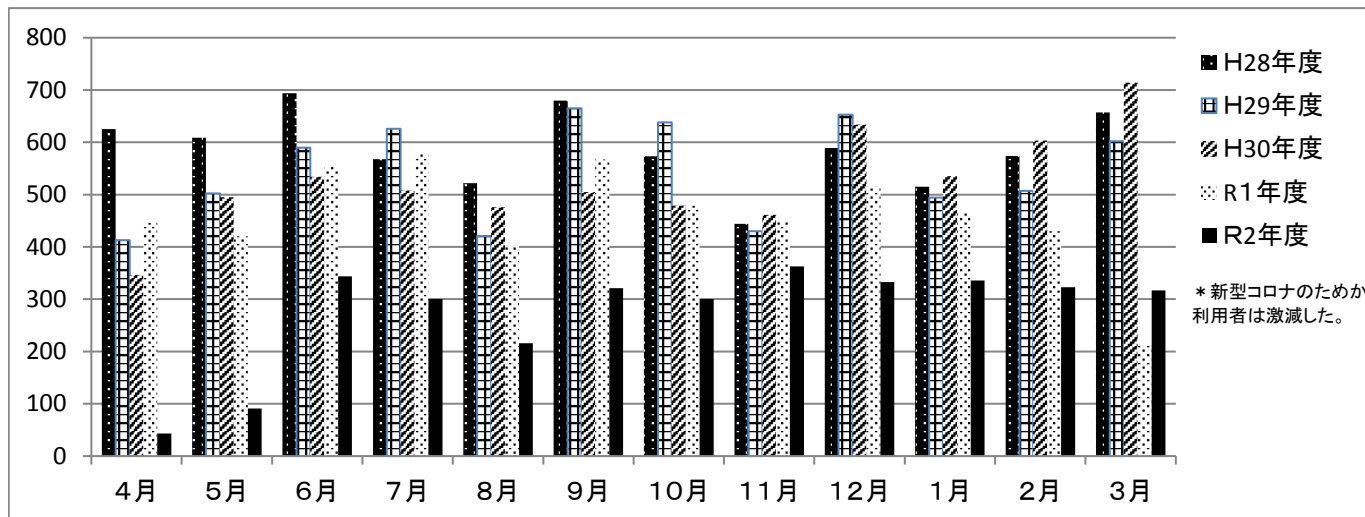


二、令和2年度における一人当たりの給食費の実績

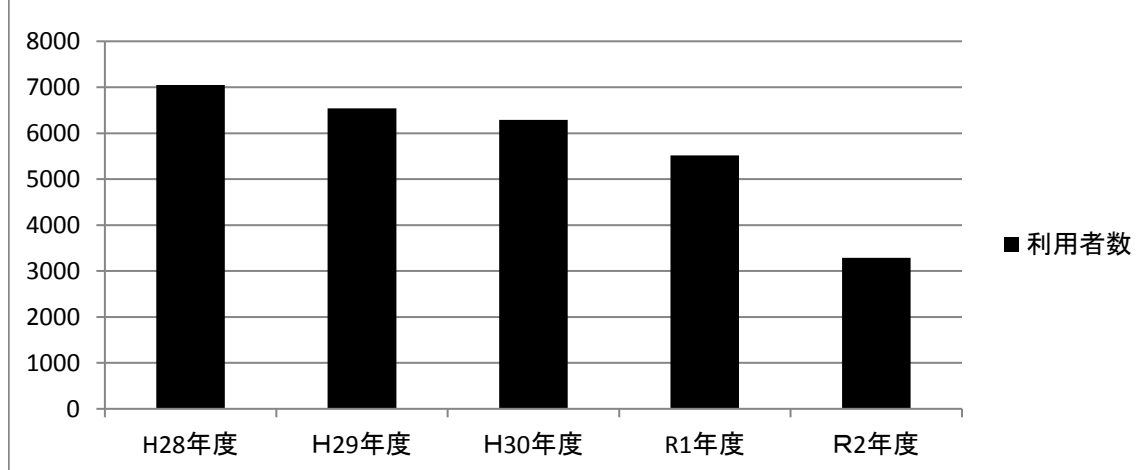
月	利用者延べ人数	予約延べ人数	1日1人当たりの金額	合計金額
4月	2	8	212	424
5月	0	0	0	0
6月	8	9	293	2,340
7月	1	1	306	306
8月	2	4	330	660
9月	8	8	260	2,083
10月	10	11	255	2,547
11月	13	13	230	2,987
12月	10	16	247	2,474
1月	5	12	210	1,054
2月	9	9	250	2,253
3月	13	17	248	3,221
合計	81	108	2,841	20,349

子育て支援センターすくすく 令和2年度事業報告書

H28年度～R2年度の利用者数



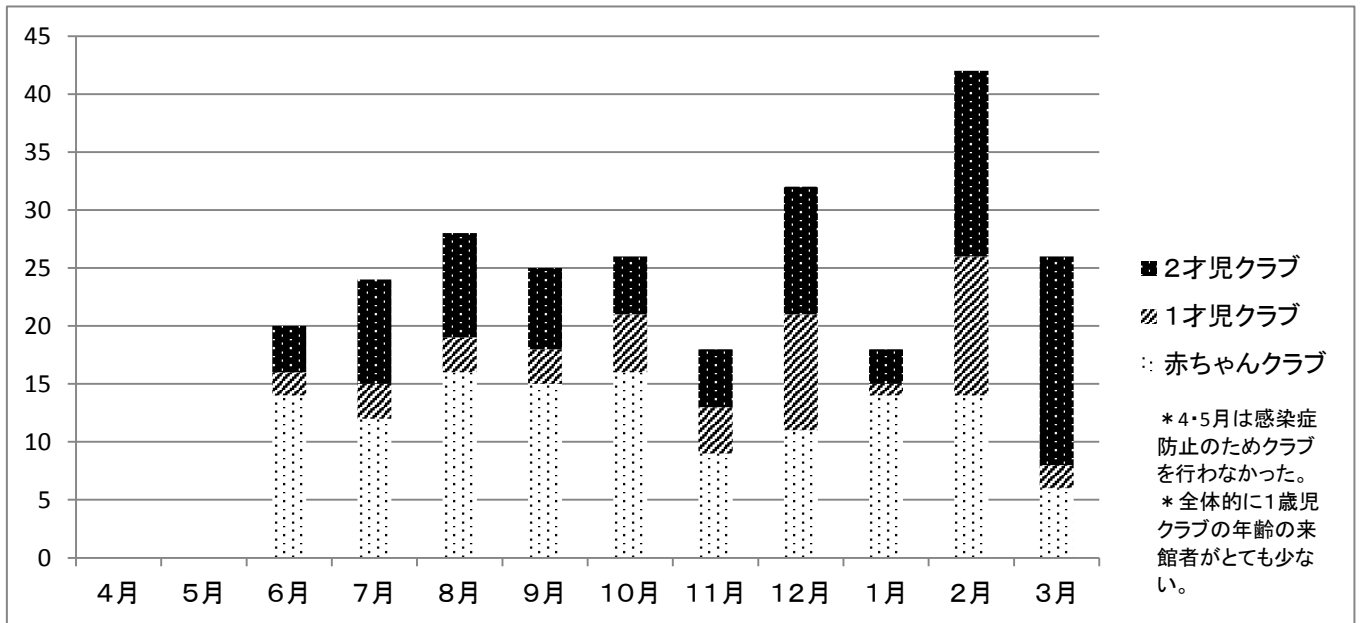
H28年度～R2年度の利用者数



令和2年度 子育て支援センター「すくすく」 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数	6	10	22	21	16	20	22	19	20	18	18	20	212
利用者数	43	91	344	300	216	321	300	363	333	336	323	317	3287
1日平均利用者数	7.2	9.1	15.6	14.3	13.5	16.1	13.6	19.1	16.7	18.7	17.9	15.9	15.5
赤ちゃんクラブ	0	0	14	12	16	15	16	9	11	14	14	11	132
一歳児クラブ	0	0	4	6	5	6	9	8	10	2	12	4	66
二歳児クラブ	0	0	7	16	16	12	10	12	11	5	16	18	123
おはなし広場	0	0	73	61	45	27	68	58	59	93	62	70	616
お誕生祝い	0	2	3	3	1	1	5	3	7	1	1	0	27
赤ちゃんタイム	0	0	8	4	2	4	0	16	22	18	4	20	98
その他の行事	0	0	0	16	7	46	49	45	60	24	25	28	300
育児相談	2	1	8	6	5	8	8	7	8	9	6	8	76
電話相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
問い合わせ	1	6	11	10	7	13	11	16	12	16	14	14	131

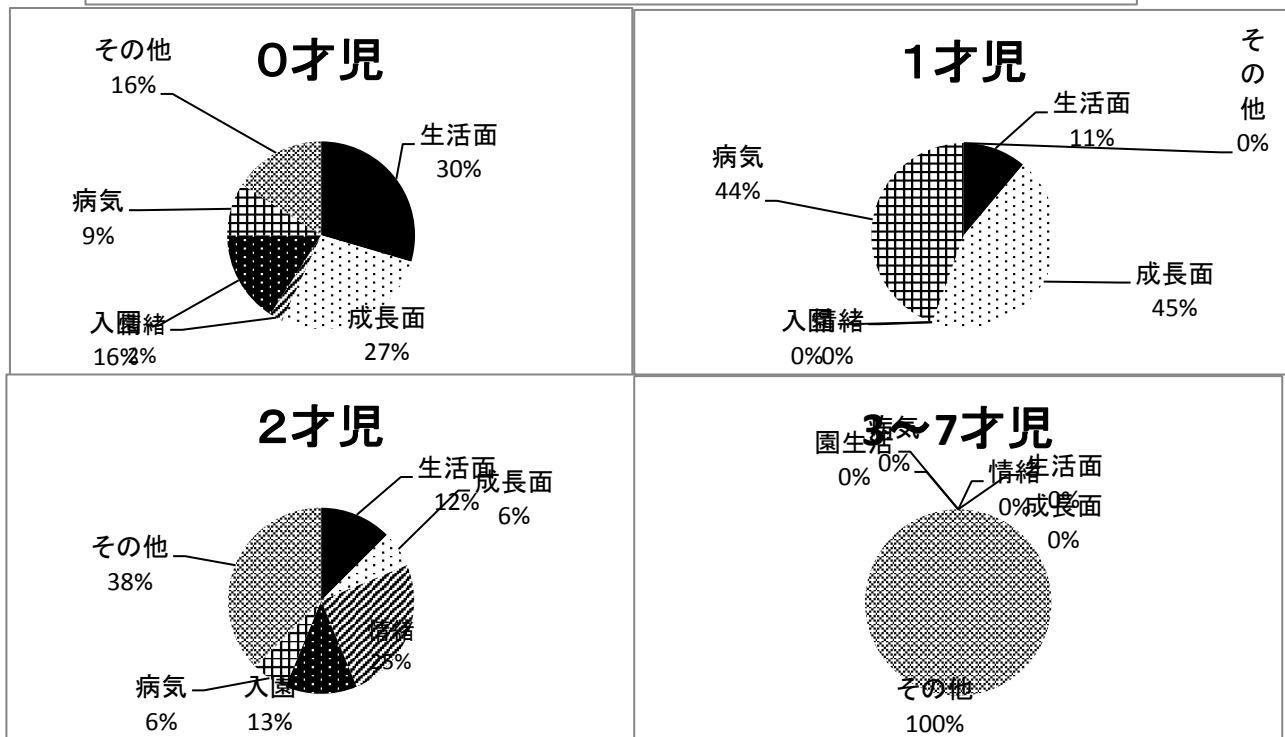
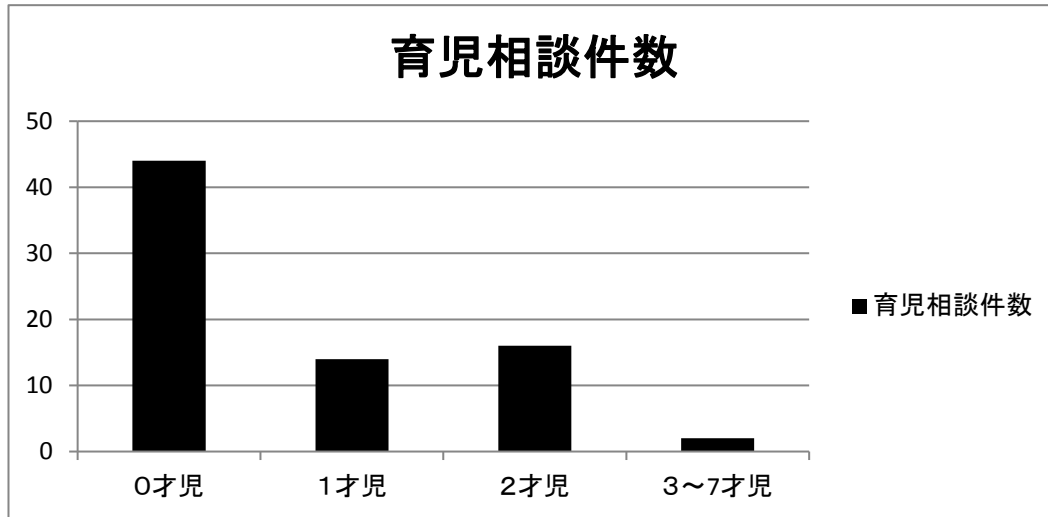
R 2年度年齢別クラブ参加者数



年間を通しての考察、今後の取り組みについて

- 今年度当初より新型コロナウイルス感染拡大予防のため、4月中旬より一ヶ月休館となった。クラブ等計画したことが実行できず残念だった。支援センターが再開されると、来館者からは支援センターのありがたみが良くわかったという声が聞かれた。
- コロナ禍で利用制限を設けて対応していった。参加したい方が全員参加することができなかったが少しずつコロナ禍ということを来館者が理解して受け入れてもらえることができたように感じた。
- 子どもの生活リズムを大事にしている来館者が多く、週のほとんどをすくすくで過ごす親子もいる。その一方で生活リズムがなかなか安定しない乳児は、家にいると泣いてばかりいると駆け込んでくる親子もいる。生活リズムの大切さを伝えたり、日々のちいさな困りごとを一緒に考えたりと各々の親子に寄り添った支援ができたように思う。
- クラブや行事の楽しみだけでなく、日々の遊びを楽しんでほしいという思いから、感触遊びや巧技台を利用しての運動遊びを提供していった。少しの変化でも親子で楽しめていたように感じた。来年度も工夫を重ねていきたい。
- 赤ちゃんタイムには、はじめて利用する方が気の合う母親同士で来館することが多くあった。その為、来館者が重なってしまい参加のお断りをする時もあった。ひとりで参加した方が気持ちよく参加できるように他のお母さんとの関わりをフォローしていった。
- 母親サークルスマイルママの活動は、今年度で9年目になった。コロナ禍となったが、密にならないような活動をと考え、外遊びの活動が多くなった。リーダー的存在の方が引っ張ってくれ、まとめてくれていた。来年度も少人数だが、母親同士が気楽に集い、楽しめる場となるようにフォローしていく。
- 全体的な利用者は新型コロナウイルスの影響もあり激減した。コロナ禍で子育てをしていく来館者のお手伝いが少しでもできるように努めていきたい。

育児相談



育児相談件数、内容

- ・ 育児相談は乳児の相談が多くあった。
0歳児の相談では、日々変化する子どもの生活面に関する相談が多かった。不安な気持ちが少しでも軽減できるよう母親の子育てに対する不安な思いや困っていることに共感しながら、じっくり話を聞くようにした。
- 1. 2歳児の相談では、子どもの病気や情緒不安に伴う相談が多かった。育児書通りに発達が進まない我が子に焦りを感じている母親がみられた。その子自身を見てほしいと考え、発達段階に応じたアドバイスをしていた。相談内容が長期にわたって様子を見ているものが多かったように感じる。母親が安心できる声かけをし、見守った。
- ・ コロナ禍でなかなか外出できず、ちいさな悩み事を聞ける機会が持てなかった母親も多かったのではないかと感じる。

育児相談内容と対応

クラブ	対象児	内容	対応	その後
赤ちゃんクラブ	6ヶ月 (女児)	育児書通りに本児が発達していないと母親が心配している。	発達段階に応じてのアドバイスを していった。母親が安心できる 声かけをしながら見守った。 個人差があらわれる月齢であるこ とを繰り返し伝えた。	発達のペースが緩やかな 月齢に達し、母親主導の育 児だが本児とよく関わって 遊ぶことができています。
	6ヶ月 (男児)	こどもの成長が目まぐるしく、 成長スピードに育児がついていか ない。 母親の自覚や自信がないため、 子どもにお母さんと呼んでもらい たくない。	母親とよく話しをし、困っている ことを聞くようにした。 発達段階を事前に知らせ、イメ ージをもって子育てに向き合えるよ うにしていった。	保育園の入園が決まり、 今後は園の先生を頼ることが できそうである。
1才児クラブ	1歳11ヶ月 (男児)	以前より便秘に悩まされている。 排便痛がはじまると母親の肩に しがみつき痛みがおさまるまで 遊ぶことができない。 痛みだけがあり、排便がない事が 多い。何回も繰り返している。	本児はとても苦しそうにしている ため、病院にかかってみてはどう か促した。	通院し、投薬治療で排便の いいリズムができた。 日中も機嫌よくすごせるよ うになり、落ち着いてあそ べるようになった。
	1歳10ヶ月 (男児)	ひとりで遊ばせておくと、陰部を 触っていることが多くて困ってい る。手に便がついてしまうことも ある。	どのような状況の時におこるのか 母親の話しをよく聞いた。 家事が忙しいことを共感しながら 本児と遊ぶ時間を増やしてみても どうか。お手伝いなど一緒にやっ てみるのも良いのでは。	その後の来館はなく、状況 はわからない。
	1歳10ヵ月 (男児)	夫の海外赴任が決まった。 2人目を出産予定で、実家の協力 を得られるがやっていけるか心 配している。	母親の不安を少しでも払拭できる ように話しをよく聞いた。 祖母も一緒に来館した際に支援 センターの説明を丁寧にし、 祖父母との利用もできることを理 解していただいた。	無事に第二子を出産し、 実家の協力を得て子育てを 行っている。
2才児クラブ	2歳 4ヶ月 (女児)	(電話相談) 保育園に通っている。 話しはじめにどもりのように ことばがつまってしまう。 最近では叫ぶような話しはじめに なってしまう。 保育園の先生にも相談した。	自分の気持ちをことばで表現でき ないもどかしさが叫びになって 表れているのではないかと。 気持ちの代弁をしたり、絵本の読 み聞かせなどをして関わってみて はどうか。 本児のことをよく知っている保育 園に相談してみるとよいのでは。	その後電話はかかってくる ていない。
	3歳 (女児)	以前から夜泣きをして困っている 夫の勤務に振り回され、夜に起き てしまったりする。 小児科にかかり精神安定剤のよう なものを服用している。 それでもあまりかわらないため、 育児に疲れてしまう。	昨年度から引き続きの相談のため 母親に疲れがみえている。 一時保育につなげ、本児と離れる ことによって母親の気持ちが楽に なり、新たな気持ちで子育てに向 き合えるように促した。	こども園への入園が近づい たり、友だちとの別れがあり 不安定になっている。 今後困った時はこども園の 先生に相談してみるとよい ことを伝えた。

年齢別クラブ、行事の内容

	赤ちゃんクラブ	一歳児クラブ	二歳児クラブ	行事
4月	かわいい名札を作ろう	かわいい名札を作ろう	かわいい名札を作ろう	
5月	市栄養士による 「離乳食のおはなし」	公園であそぼう		・さつまいもの 苗付け体験
6月	助産師による 「ベビーマッサージ」	リズムあそび		
7月	助産師による 「ベビーマッサージ」	たなばた会		
8月	歯科衛生士による 「はみがきについて」	夏祭り会		
9月	ベビービクス	キッズビクス		・交通安全教室
10月	ミニミニ運動会	ミニ運動会		・さつまいも掘り体験 ・おやこ保健室
11月	助産師による 「ベビーマッサージ」	消防署へ見学に行こう		・七五三お宮参り
12月	マフラー作り	カレンダー作り	カレンダー作り	・クリスマス会
1月	カレンダー作り	市栄養士による 「乳児食についてのおはなし」		・新春かるたとり
2月	プチ豆まき会	豆まき会	豆まき会	
3月	ひなまつり会		お楽しみ会	

母親サークル「スマイルママ」の活動内容

	スマイルママ年間活動	内容	参加組数 (人数)
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月	・自己紹介 ・活動内容と担当決め	・顔合わせからはじまり、今年度の活動内容と担当を決めた。	8組
10月	・各グループ話し合い	・リサイクル市、公園あそびの計画	5組
11月	①リサイクル市 ②公園あそび ・各グループ話し合い	・家庭における不要衣類や育児用品の交換をした。 ・さわやかアリーナで公園あそびをした。	24組
12月	③公園あそび	・夢の丘公園にて体操やスタンプラリーを楽しんだ。	8組
1月	・各グループ話し合い	・ポスターづくり	4組
2月	・各グループ話し合い	・お楽しみ会の計画	3組
3月	④お楽しみ会 ・R2年度の反省、来年度の活動予定について	・雨天のためお楽しみ会は中止となった。お楽しみ会で使う予定だった物を取りにこれた方で今年度の反省と次年度の引継ぎをおこなった。	7組

〈スマイルママの1年を振り返って〉

スマイルママは、平成24年度から活動を始め、今年度は9年目となった。新型コロナウイルス感染拡大予防のため、様子をみながら9月より活動を再開した。メンバーは9名でスタートし、興味のある方はその都度お試しの参加となった。

今年度は4つの企画となった。各担当グループで話し合いから事前準備をし当日を迎える流れ。協力して楽しく企画運営している姿が見られた。コロナ対策のため、ゆっつりのんびりとした企画で無理なく開催できよかった。スマイルママ経験者のお母さんは、とても頼れる存在になっていて同じ担当の未経験のお母さんが困らない様にリードする姿がみられる。このように企画・運営をする姿が代々上手く受け継がれていると感じている。以前から顔見知りだった母親同士がスマイルママに参加して一緒に活動することで、母親同士の仲が深まり、お互いの子育ての悩みを話したり、大変さを共感しあったりしてその後のつながりになっている。

スマイルママの活動は親子共に成長する場になっていると感じている。今後も子育てを通じて親子や母親同士のつながりの活動の場となるよう支援していきたい。

令和2年度 実績報告

ルンビニあゆみ園

1. 所在地 静岡県袋井市高尾1777-1

2. 令和2年度 入所児童数実績 (定員129名)

年齢 / 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
0歳児	6	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	105
1歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
2歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
3歳児	1号	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	5
	2号	25	25	25	25	25	25	24	23	23	24	24	292
4歳児	1号	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	23
	2号	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
5歳児	1号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2号	15	15	15	15	15	15	15	15	16	16	16	183
合計	104	108	108	108	108	108	107	107	107	109	109	109	1,292

各月初日平均年齢別措置児童数 107.6 対定員充足率 83.4%

3～5歳児 上段「1号」は1号認定児(幼稚園部)

下段「2号」は2号認定児(保育園部)

3. 保育内容

法人理念の「大慈愛心(だいじあいしん)」、保育理念の「仏教」を基本に「生命尊重」「修善」「協調」を三本柱とし、「感謝の気持ち」を子どもの心に育てていきます。

ルンビニあゆみ園では、

- ・「子どもの主体性を育む環境づくり」をしています。
- ・「子どもが安心して過ごせる環境づくり」をしています。
- ・「乳児保育担当制」を取り入れています。
- ・「あそび」の中にすべての要素が詰まっていると考えます。
- ・「行事」は子どもが成長するために必要と考えますが、年齢、発達にそぐわない過度な行事はおこないません。0～2歳児は、繰り返される日常こそが、子どもに安心感を与えるため大きな行事はおこないません。
- ・地産地消の食材を使い、温かい手作り「給食、おやつ」。
- 離乳食、アレルギー対応食もおこなっています。

遊びを中心として、子どもの主体性、想像力を育てる保育をしています。文字や数字などの「認知能力」を育む前に、目標に向かって頑張る力、他の人とうまく関わる力、感情をコントロールする力などIQなどで測れない内面の力「非認知能力」を育むことに力を入れています。

4. 給食

一日当たりの平均栄養価摂取量

	3歳以上児		3歳未満児	
	熱量	蛋白質	熱量	蛋白質
給与目標	508.0 kcal	19.0 g	459.0 kcal	17.2 g
摂取量	527.3 kcal	20.2 g	469.3 kcal	18.2 g

一日当たりの平均給食費

3歳以上児	250.7 円	3歳未満児	196.2 円
-------	---------	-------	---------

野菜の栽培

きゅうり、ズッキーニ、なす、ピーマン、枝豆、さつまいも、
だいこん、かぶ、たまねぎ、ねぎなど

クッキング

お茶の淹れ方、お月見団子、きなこクッキー、きなこサンド、さつまいもおやき、
チーズのりサンド、ちらし寿司、ライスピザ、非常食など

5. 健康管理

前期健康診断	6月16日	後期健康診断	10月20日
歯科検診	6月11日	尿検査	5月27日
視力・聴力検査	8月18日	水質検査	8月6日、24日

フッ素洗口 4, 5歳児のみ(4歳児は11月より開始)
園児の身体測定
緊急事態宣言による臨時休業 4月14日～5月31日

6. 非常災害対策

毎月1回 避難・消火訓練
引き渡し訓練 4月30日(中止) 普通救命講習会
総合防災訓練 9月8日 12月19日、1月9日
不審者対応避難訓練 10月7日
社会福祉施設防災訓練 11月5日

7. 主な行事

4月	*保護委員会総会 花まつり こどもの日のお祝い *引き渡し訓練※中止
5月	尿検査 *親子遠足(3～5)※中止
6月	歯科検診 前期健康診断 交通安全教室 *保育参加※中止
7月	花火教室※中止 たなばた *納涼祭
8月	視力・聴力検査(4～5) お泊り保育(5)
9月	*運動会(4～5) おつきみ
10月	*参観・歯科講座(4) 後期健康診断 *保育参加(4～5)
11月	社会福祉施設防災訓練 *参観・講演会(3) 七五三のお祝い *発表会(4～5)
12月	成道会 クリスマス会 *もちつき会
1月	*保育参加(4～5)
2月	豆まき 涅槃会 *奉仕作業※0～3は中止
3月	ひなまつり お別れ遠足「花鳥園」「可睡斎」(5) *卒園式(5) 修了式(3～5)

◎ *印・・・保護者参加行事

◎ 毎月・・・避難訓練、身体測定

小規模多機能型居宅介護事業所ひなた訪問(5)※中止

令和2年度より 保護者会の発足

8. 職員配置

令和3年3月1日時点

歳児別	クラス名	園児数	保育教諭数
0歳児	いちご	9	3
1歳児	さくらんぼ	18	4
2歳児	ばなな	18	3
3歳児	ぶどう	25	2
4歳児	みかん	23	2
5歳児	めろん	16	1
給食室	管理栄養士 1	栄養士 1	調理員 2
職員室	園長 1	副園長 1	主幹保育教諭 2
	補助員 1		
育休	保育教諭 1		
	園児計 109		職員計 25

職員配置

年度当初

園長1名 副園長1名 主幹保育教諭2名 保育教諭15名
管理栄養士1名 栄養士1名 調理員2名 補助員1名

5月17日～

保育教諭1名産休入り

6月1日～

保育教諭1名採用（派遣）

8月末

保育教諭1名退職（派遣）

9. 実習生受け入れ

11月18日～11月19日 浜松情報専門学校 1年 2名

2月 1日～ 2月13日 聖徳大学 3年 1名

感染症の動向

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
溶連菌感染症				1									1
感染性胃腸炎				3									3
咽頭結膜熱 (プール熱)							1						1
合計	0	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	5

【ヒヤリ・ハット】報告 (9件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
子どもの危険行為		1	1					2		1	1	2	8
環境不備													0
保育者の対応		1											1
その他													0
合計	0	2	1	0	0	0	0	2	0	1	1	2	9

《子どもの危険行為》

- ・園庭に生えていたキノコを口にしてしまった。
- ・すべり台の手すりから身を乗り出していた。
- ・迎えに来た保護者を見つけ、フェンスをよじ登り鍵を開け出ってしまった。
- ・追いかけて友達を突き倒した。

《保育者の対応》

- ・お迎えの際、母親を見かけ、一人で園庭から出ってしまった。

【事故】報告 (28件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園内処置	2	1	4	2		1		3		1	1		15
岩本外科医院								1	1			1	3
まきの歯科クリニック													0
他医療機関	1		1		2		1	3	2				10
合計	3	1	5	2	2	1	1	7	3	1	1	1	28

喧嘩・噛みつき・ひっかき 5件

人や物にぶつかるなどの接触 5件

遊具や台からの落下 4件

その他 3件

つまずき、転倒 11件

うち医療機関にかかった事故 13件 (降園後に医療機関を受診したのものも含む)

- ・顔にハンカチを掛け遊んでいた際にロッカーに顔をぶつけ打撲。(青葉子どもクリニック)
- ・園庭でおにごっこ中に排水溝の上に転倒し右腕骨折(岩本外科、磐田市立総合病院)
- ・園外保育中に毛虫に接触(犬塚皮膚科)
- ・室内でバランスを崩し転倒し右目横打撲。(竹内眼科)
- ・保護者が靴を履かせようとしたところ手をつき左肘脱臼(森下整形外科)
- ・登り棒の着地に失敗し左足の甲を打撲(岩本外科)
- ・園庭で転倒し、丸太に顔をぶつけ打撲(中東遠総合医療センター)
- ・公園の遊具に何度も挑戦し、滑り落ちて左腰を打撲(三木小児科)
- ・園庭で転倒し、排水溝の蓋に顔をぶつけ打撲(中東遠総合医療センター)
- ・室内を走ろうとした子を止めようと腕を持ち脱臼(岩本外科)
- ・鉄棒から落下し、右手をつき、右腕骨折(よしむら整形外科)
- ・垣根に潜り込み、転倒し後頭部を擦る。(青葉子どもクリニック)
- ・階段を駆け上がろうとし、転倒、下唇裂傷(岩本外科)

【研修】 報告

月日	項目	参加職員	実施内容
8/18~19	キャリアアップ研修	保育教諭	障害児保育
9/1~3	キャリアアップ研修	保育教諭	幼児保育
9/25	新型コロナ研	副園長	新型コロナウイルス消毒方法
9/30	県保育士会研	副園長、管理栄養士	保育・教育の質を守り、職員の心と仕事を守る
10/15	県保連創立60周年記念対談	園長	改めて『これからの保育』を考える
10/28~30	キャリアアップ研修	保育教諭	保護者・子育て支援
11/6	県保育士会主幹・主任研	副園長・主幹保育教諭	こども・家庭支援における主任保育士・主幹保育教諭の役割
11/7	スポーツ栄養学に関する研	管理栄養士	スポーツ栄養学を取り入れた中高生の食育
11/28	食農体験学習指導者研	管理栄養士	命をつなぐ食育
11/17	県保連施設長会	園長	いま、求められる保育の専門性
12/1~3	キャリアアップ研修	保育教諭	マネジメント
12/12	食農体験学習指導者研	管理栄養士	一緒に考えるエシカル消費
12/19	普通救命講習	保育教諭	
1/9	普通救命講習	保育教諭	
1/13	給食関係者研	管理栄養士	学校給食での減塩取組
2/4	県保育士会研	栄養士	保育内容の一環としての食育
2/4	子どもの食と健康を考える会	管理栄養士	命をつなぐ食育
2/18	療育支援ネットワーク連絡会	副園長	

いわた保育士会研究部会
 地域の子育て家庭支援部 定期開催

法人内研修

5歳児部会 0歳児部会 給食部会
 各部会ともに 8/1、12/5、2/20 年3回開催

保育部門 管理職会議
 毎月開催

職員会議

毎月、職員会議の中で保育を振り返る。職員会議、給食会議の他、0～2歳の会議、3～5歳の会議など細分化しておこなっている。

保護者との連携及び連絡

担当・担任が、連絡ノートや口頭で伝達。毎週、金曜日にその週の様子を写真で掲示。園だよりの発行、保育参加への呼びかけ。施設の保育への理解を促している。7月よりホームページを開設。週2回くらいのペースで更新している。

苦情・要望等

歳児	保護者の意見・要望	園としての考え・対応
3	送迎の際に園庭側からではなく、玄関の方から出入りしたいがその場合、保育写真や給食の写真が見れないので玄関の方でも見れるようにしてほしい。	園庭側からの出入りが多いため、園庭側を中心としております。園庭側お知らせコーナーのタブレットが太陽の熱で落ちてしまうことがあり、現在、お知らせコーナーには印刷物、玄関にタブレットを掲示しています。また給食は、ホームページからも見られるようにしておりますので、そちらからもご覧できます。保育写真もホームページの方が細かく掲載しております。玄関、園庭側ともに魅力ありますので、時々替えてみてはいかがでしょうか。
3	園から水泳や音楽教室などの習い事に通える(園から送って頂ける)様な取り組みをして頂きたい。	このようなご意見をいただき、園としての発信が足りていないと反省しております。
3	年少組から運動会やお遊戯は簡単な内容だけでも良いので行っても良いと思う。年少組になると練習する事に対してもやりがいを感じると思う。	現代の年少児ですと、まだ集団としての行事参加は難しい年齢と考えます。年少児の行事参加は一昔前より変化していると感じており、現状では子どもにかなりの負担を強いるのではないかと考え、個から集団へ成長している過程の4歳児と、その集団がまた1ランク上のステージでまとまっている5歳児を中心に行事をすすめています。その他に、駐車場確保、密の回避、職員の勤務体制等の問題もあります。
4	運動会などまだ年齢が低かったとしても、参加させて欲しい。	行事は決して親や職員が感動、満足するためにおこなうものではなく、あくまでも子どもが成長するためのものです。子どものためにどうあるべきか、今後とも考え、皆様にご理解いただけるよう発信していきます。
4	手洗いの指導をしてほしいです。トイレ後手洗いをしない子がいたり、迎えに行くと、室内で過ごしているのに手が茶色かったり(外で遊んで)汚れていることがある。	新型コロナウイルス感染症の影響で、以前より手洗いについて伝えていますが、しかし、3歳児以上には個別な対応は難しく、本人が意識しないと丁寧に洗いません。できるだけ、意識できるよう今後も指導していきたいと思えます。
2	運動会当日は朝から曇っていて雨が降りそうな天気だったのでもう少し様子を見て欲しかったです。(コロナの影響で行事が減っているため開催するものは予定通りやってほしいからです)	当日は早朝より出勤し、雨が降らない予報を確認したうえで、7時に開催を決定しましたが、予報が外れて雨となってしまいました。「様子を見て判断」にもタイムリミットがあります。7時以降の連絡では、「園の準備時間不足」や「判断を早くしてほしい」との要望が出ます。申し訳ございませんが、7時の時点での天気予報で判断する以外は、対応が難しいことをご理解ください。
4	4月から食事のグループなど子ども達の姿をみて決めてくださっているのは承知しております。集合写真や発表会での並び順でやはり、グループが見えてしまい、グループ内の男女の比率が疑問になってしまいました。他に理由があれば、知りたいです。	3,4歳児の食事のグループについては、机や椅子の高さに合わせてグループを組んでいます。4歳児は小柄な女の子が多いため、低い机に女の子が多くなっています。5歳児からは、全員が同じ高さの机、椅子を使いますので、グループも変わっていくと思います。男女比については、園全体の男女の比率として4:6となっています。5:5のクラスもありますので、4:6以上に比率が大きいクラスもあるのが現状です。
4	お便りのデジタル化の検討(アプリに添付できないか。ペーパー、インクレス。)	いずれはそうにしていきたいところですが、れんらくアプリを全く閲覧しない保護者がいることも事実です。このアンケートも10名の方が無回答でしたが、そのうち6名の方は閲覧すらしていない状態です。どのような形がよいのか、今後も検討していきたい思います。
4	保護者側からの連絡事項のアプリ内などの受信対応の検討	具体的にはどのようなことでしょうか、またご意見をお聞かせ願います。
4	日中園庭からと正面玄関からいつでも誰でも入れてしまうので、セキュリティ面が心配だと思う。不審者が入ってきた場合気づかない可能性もあるのでセキュリティ面も強化していただけたら嬉しいです。	現在、防犯カメラは4台設置されており、園庭、駐車場、園舎北側、園舎西側が職員室にて確認できるようになっています。また、園庭、玄関への出入りは職員室から確認できる状況です。また、子どもが、玄関から駐車場へ飛び出していかないよう、業者と相談し、玄関前にフェンスをつけてもらう予定です。あと、年に1回、不審者対応訓練として、戸外から室内に素早く入り、園内を施錠する訓練もおこなっております。
3	園で工作などの制作学習をもっとして頂きたい。	ホームページにも掲載しておりますが、0~2歳児は、お絵かき、塗り絵、シール貼り、小麦粉粘土等、発達にあった道具を使った遊びを取り入れております。3~5歳児は、クレヨン、色鉛筆、絵具の他に、折り紙、自然物を使った制作など取り入れております。指先の発達を促す玩具も、すべてのクラスに置いてあります。
4	小さい学年でも工作や絵を書いたものをやって欲しいと思う。	

4	卒園生の使わなくなった体操服やカバン、サイズアウトした体操服などを新入生や在園生などにバザーをするなどして欲しい。	申し訳ございませんが、園が介入する事案ではないと考えます。卒園児も3月30日まで保育があり、用品を使用していますので、どのような形でそのようなことができるかわかりませんが、またご意見をいただきたく思います。
3	園への要望というよりは保護者への要望になってしまいますが、送迎時の挨拶ができない保護者（特に両親。祖父祖母はできている）が度々います。子どもは見えないように見ていると思います。みんなで改善していくべきだと日々思っています。	ご意見ありがとうございます。挨拶はコミュニケーションの基本です。確かに親が挨拶をする姿を見れば、子どもは「挨拶はするもの」と認識します。親が挨拶をせずに子どもに対してだけ「挨拶しなさい」では、子どもは混乱します。我々も気をつけていきたいと思っています。

保護者アンケートは、職員の自己評価とともにホームページに掲載しています。

子育て支援事業「あゆみ広場」 週一回の園庭開放 月一回の講座を開催

月	園庭開放利用者	講座	講座利用者	計
4	中止	無し	中止	0
5	中止	食のおはなし広場	中止	0
6	10	親子体操	7	17
7	14	食のおはなし広場	6	20
8	15	入園説明会	31	46
9	8	パッケクッキング	6	14
10	8	おはなしの会	4	12
11	5	食のおはなし広場（離乳食講座）	8	13
12	0	親子ふれあい遊び	17	17
1	4	食の広場（給食レシピ紹介～主菜編～）	10	14
2	10	親子体操&サーキット	15	25
3	8	食の広場（給食レシピ紹介～おやつ編～）	7	15

年間利用者数 193

令和2年度実績報告書

ルンビニ保育室 花びら

1. 所在地 静岡県袋井市浅羽2275番地の1

2. 各月初日現在年齢別措置児童数 (定員12名)

月 児	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
0	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
1	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
2	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
計	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168

各月初日平均年齢別措置児童数 14人

対定員充足率 116%

3. 保育内容

ルンビニ保育室 花びらでは「乳児保育担当制」を取り入れています

よく知られている一斉保育。クラス単位で担任が子どもたちを一斉に保育する。赤ちゃんの時から、みんなでご飯を食べ、みんなで排泄をおこない、みんなでお昼寝。しかし、ルンビニ保育室 花びらではそのような保育はしません。自立へ向けてゆっくり歩みを進み始めたばかりで、生活リズムの個人差が大きい乳児に対して、特定の保育者が特定の子どもの育児（食事、排泄、睡眠など基本的な生活への援助）をします。もちろん一人ひとりの発達や生活のリズムに合わせるので、給食やお昼寝、おむつを交換する（排泄に誘う）タイミングが違います。

同じ大人が同じ子どもの日常へ密接に関わるというご家庭では当たり前のことを実践するために、できる限り丁寧に保育し、子どもたちが安心して過ごせ、大人との愛着関係を形成していけるようにしていきたいと考えています。

ルンビニ保育室 花びら 生活のしおりより抜粋

(1) 保育時間

保育短時間	8時30分～16時30分
保育標準時間	7時30分～18時30分
土曜保育	7時30分～17時30分

(2) 行事

4月	*花まつり こどもの日のお祝い
6月	前期健康診断 歯科検診
7月	七夕
9月	*総合防災・引き渡し訓練
10月	後期健康診断
11月	社会福祉施設防災訓練 七五三のお祝い
12月	クリスマス会
2月	まめまき *入園説明会
3月	ひなまつり お別れ会

◎ *印・・・保護者参加行事

◎ 毎月・・・避難訓練、身体測定、誕生日のお祝い

(3) 日課

7:30 随時登園 遊び
9:15 散歩(浅羽中央公園等)
10:30 帰園 遊び 給食準備
11:10 遊び 給食 午睡
14:30 起床 遊び おやつ準備
15:15 遊び おやつ
16:00 随時降園 遊び
～18:30

日課は年間を通じて年齢別に発達段階に応じて室長、副主任保育士、担当保育士が協議して定め、左記のものを基本としています。

一斉保育ではなく、一人ひとりに合わせた日課を実践するため、「遊び」「給食」「午睡」などが重なります。

(4) 給食

ルンビニ第二保育園参照

(5) 健康管理

袋井市諸井所在の岩本医師を嘱託医とし、定められた入所時健康診断(前期)・後期健康診断を実施し、又、まきの歯科クリニックによる歯科検診を年1回行いました。

前期健康診断 6月24日

後期健康診断 10月9日

歯科検診 6月18日

異常者なし

(6) 災害非常対策

毎月1回 避難・消火訓練 9月1日 総合防災・引き渡し訓練
11月2日 社会福祉施設防災訓練

(7) 保育担当者

年・月齢、発達段階、生活リズムを考慮し、担当保育士を定めて保育をおこなう。

年度末3月1日時点の保育園児数と保育士

	歳児別園児数	保育士数
0歳児グループ	0歳児4名	2名
1歳児グループ	1歳児5名	1名
2歳児グループ	2歳児5名	1名
保育支援者		1名
室長・副主任・フリー		3名
計	14名	8名

職員配置

年度当初 室長1名 副主任1名 保育士5名（うち非常勤2名）

保育支援者（非常勤）1名

4月 保育士2名（本園より異動）

10月 保育士1名（産休） 保育士1名（早番固定1時間パート）

12月 保育士1名退職（早番固定1時間パート）

2月 保育士1名（短時間派遣）

4. 実習受け入れ

静岡こども福祉専門学校2年生 1名

5. その他

(1) 職員研修 各種外部研修に参加（リモート研修）

(2) 職員会議

毎週会議の中で保育を振り返る。12月、3月は、本園で合同会議。

(3) 保護者との連携及び連絡

担当が、連絡ノートや口頭で伝達。人数が少ない分、保護者との距離も近く感じる。

園だよりの発行やドキュメンテーションによるお便り配布（保育の見える化）。

6. 感染症の動向

病名 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
感染性胃腸炎					1							1	2
手足口病	1												1
突発性発疹				1	1								2
計	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	5

7. ヒヤリ・ハッと 8件

- ・給食異物混入（配膳前だったため提供していない） 3件
- ・紐状の玩具を首に巻こうとしていた 2歳児
- ・棚の隙間に指を入れようとした 1歳児
- ・お便り帳の入れ間違い（ダブルチェックにより未然に回避） 1歳児
- ・ボールが車道に出てしまった 2歳児
- ・給食のバナナが傷んでいた。（提供していない）

8. 事故報告 33件

処置 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
園内処置		2	2	5	1	5	3	2	4	5	1	1	31
岩本外科			1								1		2
計	0	2	3	5	1	5	3	2	3	5	2	1	33

- ・転倒 17件
- ・嘔みつき 2件
- ・指を挟んだ 1件
- ・（物／人）接触 12件
- ・落下（物） 1件

9. 苦情・要望等

- ・転園先を早く知りたい。

10. 修善事業等

- ・サンシェード設置工事（6月） 363,000円
- ・水道蛇口取り替え工事（11月） 8,800円
- ・砂場設置工事（12月） 99,000円